

目次

- ★ 発生動向総覧 P 1～4
- ★ 感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況 P 5
- ★ 指定届出機関からの特記事項欄コメント P 5～6
- ★ 全数把握感染症集計表 P 7
- ★ 定点把握感染症集計表 P 8～12
- ★ 定点把握感染症推移グラフ P 13～17
- ★ 定点把握感染症集計表（月報） P 18～21
- ★ 定点把握感染症推移グラフ（月報） P 22～23
- ★ 今シーズンの季節性インフルエンザの状況 P 24～26
- ★ 県内で麻疹（はしか）患者が発生しました P 27～28
- ★ 令和5年度感染症媒介蚊定点モニタリング（6月分）の結果 P 29
- ★ 新型コロナウイルス感染症の状況 P 30～



発生動向総覧

◆全数届出の感染症

- 1 類感染症 報告なし
- 2 類感染症 結核（東部（1）、中部（3）、西部（1））
- 3 類感染症 腸管出血性大腸菌（中部（1））
- 4 類感染症 日本紅斑熱（静岡市（2））、レジオネラ症（東部（1）、浜松市（1））
- 5 類感染症 梅毒（東部（1）、富士（1）、静岡市（1）、中部（1）、浜松市（4））、破傷風（静岡市（1））、バンコマイシン耐性腸球菌感染症（東部（1））

◆定点把握の対象となる5類感染症（週報対象のもの）

環境衛生科学研究所
感染症情報センター

感染症発生動向調査

令和5年第25週(6/19～6/25)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値（開始基準値）以上で開始し、別の基準値（終息基準値）未滿で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

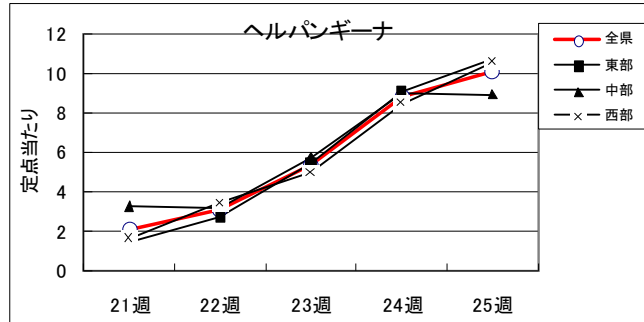
疾病	警報レベル		注意報レベル 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

【今週のコメント】

ヘルパンギーナが、全県で罹患数901、定点当たり10.12の患者発生があり、前週の8.85から増加しています。流行の警報レベルの開始基準値の6を超え警報レベル中です。

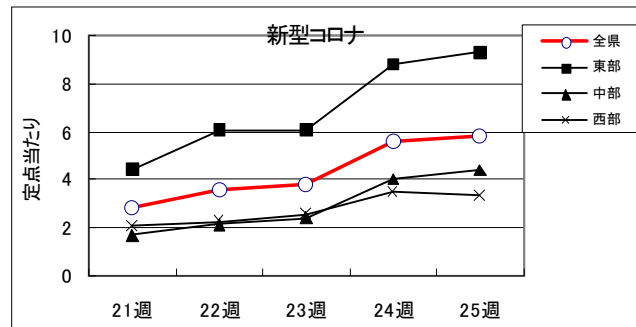
【ヘルパンギーナ】

全県で罹患数901、定点当たり10.12の患者発生があり、前週の8.85から増加した。定点当たり東部地区で10.72、中部地区で8.93、西部地区で10.57の患者が発生した。



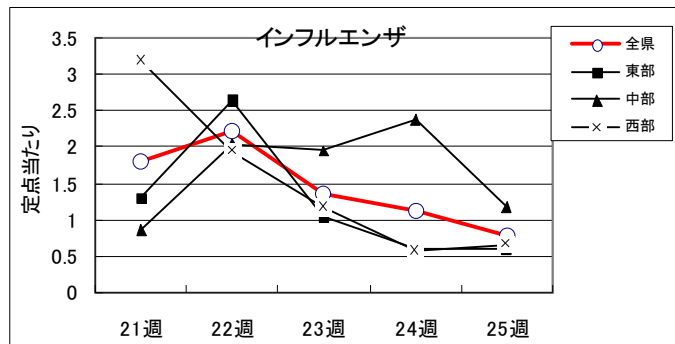
【新型コロナ】

全県で罹患数808、定点当たり5.81の患者発生があり、前週の5.56から増加した。定点当たりは、東部地区で9.32、中部地区で4.40、西部地区で3.34の発生があった。



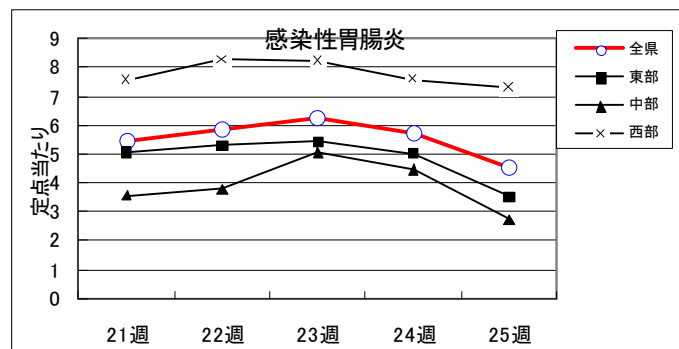
【インフルエンザ】

全県で罹患数110、定点当たり0.79の患者発生があり、前週の1.13から減少した。定点当たりは、東部地区で0.6、中部地区で1.17、西部地区で0.66の発生があった。



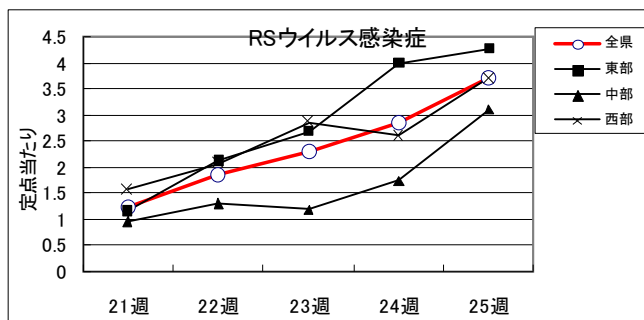
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数406、定点当たり4.56の患者発生があり、前週の5.73から減少した。定点当たり東部地区で3.53、中部地区で2.74、西部地区で7.3の患者が発生した。



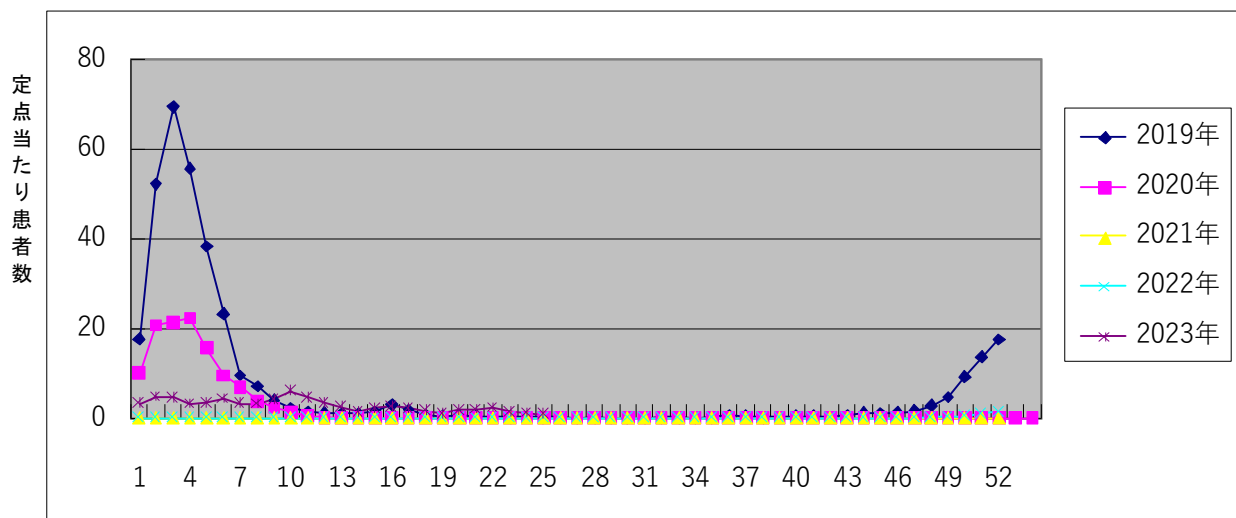
【RSウイルス感染症】

全県で罹患数332、定点当たり3.73の患者発生があり、前週の2.84から増加した。定点当たり東部地区で4.28、中部地区で3.11、西部地区で3.7の患者が発生した。



- ・麻疹、風疹は患者発生なし。
- ・全国のインフルエンザの発生は1.29で前週と同じであった。警報及び注意報レベルの保健所を有する都道府県は3で変更なしであった。
- ・静岡県において第25週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)ヘルパンギーナ (10.12)、2)新型コロナウイルス (5.81)、3)感染性胃腸炎(4.56)、4)RSウイルス感染症 (3.73)、5)手足口病(1.01)、6)インフルエンザ (0.79)であった。

【インフルエンザ罹患数推移】

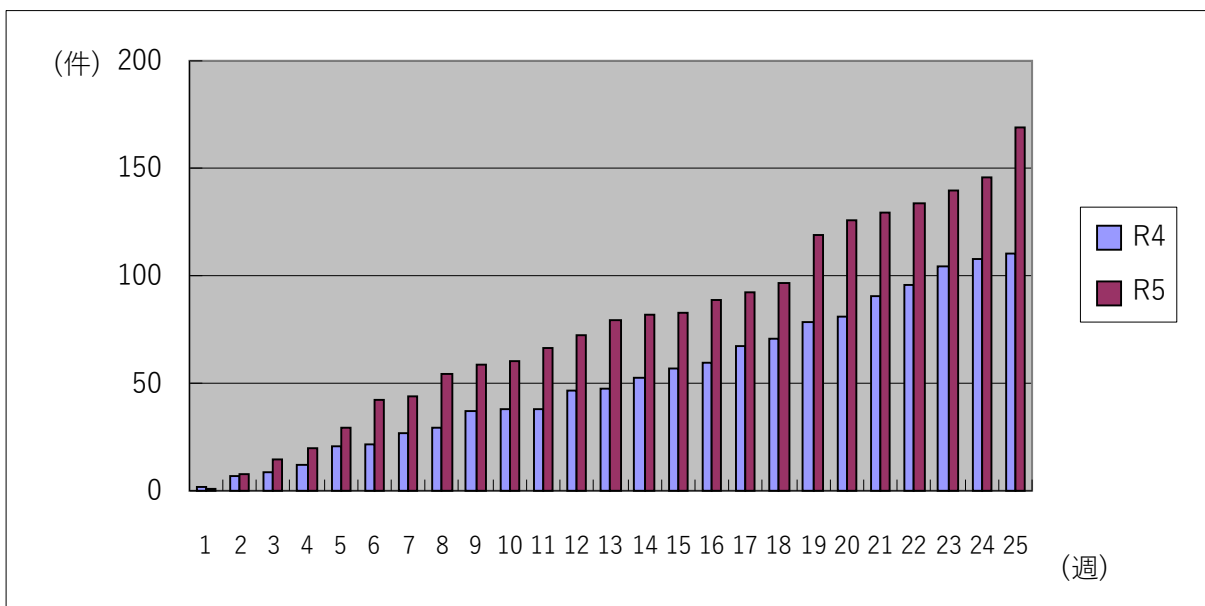


【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2022/2023シーズン)】
 (令和4年36週～令和5年25週)

		検体搬入数	A/H1 pdm09	A/H3	B/山形 系統	B/Victoria 系統
R4 36～52週	静岡県	9		5		
	静岡市	3		1		
	浜松市	0				
R5 1～5週	静岡県	14		11		
	静岡市	13		13		
	浜松市	1		1		
6～10週	静岡県	21		12		
	静岡市	10		8		
	浜松市	0				
11～15週	静岡県	15		12		
	静岡市	5		4		
	浜松市	0				
16～20週	静岡県	4	1	3		
	静岡市	0				
	浜松市	0				
21週	静岡県	1		1		
	静岡市	0				
	浜松市	0				
22週	静岡県	0				
	静岡市	0				
	浜松市	0				
23週	静岡県	2				
	静岡市	1				
	浜松市	0				
24週	静岡県	1		1		
	静岡市	0				
	浜松市	0				
25週	静岡県	0				
	静岡市	0				
	浜松市	0				

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】

・25週は前年同期比1.52倍の増加となった。



◆感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

警 報 咽頭結膜熱（御殿場）、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（御殿場）
ヘルパンギーナ（東部、御殿場、富士、静岡市、中部、西部、浜松市）
注意報 なし



指定届出機関からの特記事項欄コメント

感染症第25週（令和5年6月19日～令和5年6月25日）

高野医院（伊東市）「新型コロナ 38名」

むらかみ小児科クリニック（伊東市）「インフルエンザB型 1名」

よぞ小児科医院（沼津市）「新型コロナ 1名」

光ヶ丘小児科（三島市）「新型コロナ 13名、腸管アデノ 2名、RS 14名、ヒトメタニューモ 1名」

白十字小児科医院（沼津市）「インフルエンザA型 1名」

函南平出クリニック（函南町）「RS 8名、ヘルパンギーナ 14名、アデノ 6名、ヒトメタニューモ 8名、溶血性レンサ球菌 4名、流行性耳下腺炎 1人、新型コロナ 3名」

たうち小児科医院（御殿場市）「インフルエンザA型 6名」

小川小児科内科医院（富士市）「インフルエンザA型 6名、新型コロナ 33名」

木村内科医院（富士市）「新型コロナ 1名」

共立蒲原総合病院・内科（富士市）「インフルエンザ 1名、新型コロナ 16名」

幸治小児科医院（富士市）「インフルエンザ 7名、新型コロナ 2名」

聖隷富士病院（富士市）「新型コロナ 19名」

瀬尾小児科内科医院（富士市）「インフルエンザ 4名、新型コロナ 15名」

田子浦クリニック（富士市）「インフルエンザ 1名、新型コロナ 22名」

谷口小児科医院（富士宮市）「新型コロナ 3名」

南陽堂内科循環器科クリニック（富士宮市）「新型コロナ 1名」

平野医院（富士市）「新型コロナ 3名」

富士市立中央病院（富士市）「新型コロナ 5名」

富士宮市立病院（富士宮市）「新型コロナ 1名」

三浦医院（富士宮市）「インフルエンザ 4名、新型コロナ 4名」

浜松医療センター（浜松市）「ヒトメタニューモ 1名（3歳男児）」

クリニックパパ（浜松市）「咽頭アデノ 3名」

幸田子供クリニック（浜松市）「インフルエンザA型 1名」

天童こども医院（浜松市）「咽頭アデノ 1名」

小児科竹内医院（浜松市）「インフルエンザA型 1名」

縣医院（浜松市）「インフルエンザA型 5名」

おおば小児科（浜松市）「インフルエンザA型 8名」

※特記事項欄コメントによるインフルエンザウイルス型別状況（R4-R5 シーズン累計）

区分	報告数	割合
インフルエンザA型	4,004名	98%
インフルエンザB型	96名	2%

静岡県の感染症週報はホームページでも御覧いただけます。

（「静岡県 感染症情報センター」で検索）

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>

2023年 25 週

疾患名	区分	静岡県						全国					
		20週	21週	22週	23週	24週	今週	年累計	22週	23週	24週	今週	年累計
エボラ出血熱													
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱													
急性灰白髄炎													
結核		4	5	4	4	3	5	153	251	225	251	218	6,411
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1													
鳥インフルエンザH7N9													
コレラ													1
細菌性赤痢									2		2	1	15
腸管出血性大腸菌感染症					1		1	10	77	79	97	96	947
腸チフス										1	1	2	21
パラチフス											1		6
E型肝炎								1	7	13	7	13	295
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎									1				26
エキノコックス症													5
エムボックス								1	6	6	2	1	178
賞熱													
オウム病									1				5
オムスク出血熱													
回帰熱												3	8
キャサスル森林病													
Q熱													
狂犬病													
コクシジオイデス症													1
ジカウイルス感染症													
重症熱性血小板減少症候群				1				2	10	1	7	5	78
腎臓熱性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎													
炭疽													
テクングニア熱													1
つつが虫病									2	5	3	2	99
デング熱										2	2		33
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニパウイルス感染症													
日本紅斑熱							2	2	10	10	13	12	134
日本脳炎													
ハンタウイルス肺症候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症													1
ベネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
野りんチフス													
ポツリヌス症													
マラリア										1			7
野兔病													
ライム病												1	4
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽													
レジオネラ症	1	1	1	1	2			27	52	47	131	73	901
レプトスピラ症													4
ロッキー山紅斑熱													
アムール赤痢			1					10	5	5	5	5	237
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)									2	3	3	2	125
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			2		1			13	24	15	29	34	846
急性弛緩性麻痺									2		2		26
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)				1				13	8	8	4	10	239
クリプトスポリジウム症											1	1	4
クロイツフェルト・ヤコブ病					1			3	3	1	4	2	74
劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1			11	12	11	19	7	397
後天性免疫不全症候群			1					4	15	12	12	9	453
ジアルジア症								2					24
侵襲性インフルエンザ菌感染症								5	14	8	13	14	228
侵襲性髄膜炎菌感染症										3			8
侵襲性肺炎球菌感染症	1							17	21	22	20	20	914
水痘(入院例に限る)		1			2			6	7	10	7	5	185
先天性風しん症候群													
梅毒	4	3	4	5	5		8	169	234	200	229	218	7,124
播種性クリプトコックス症								2	1	2	2	1	88
破傷風							1	2	1	4	8	5	40
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1			1	7	1	1	1	3	69
百日咳					2			5	20	17	24	30	402
風しん													7
麻疹					1			1	3		2	1	19
薬剤耐性アシネトバクター感染症													8
新型コロナウイルス等感染症													

*医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2023年 25 週

	静岡県							全国				
	20週	21週	22週	23週	24週	今週	計	22週	23週	24週	今週	計
RSウイルス感染症	74	110	165	204	253	332	1,138	6,659	8,285	9,093	9,936	33,973
咽頭結膜熱	39	52	38	54	37	32	252	1,928	2,161	2,082	1,923	8,094
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55	66	65	82	75	68	411	4,970	5,237	5,083	5,132	20,422
感染性胃腸炎	565	485	520	558	510	406	3,044	20,757	19,696	18,121	15,630	74,204
水痘	5	10	6	6	10	5	42	357	397	401	416	1,571
手足口病	35	38	54	78	88	90	383	1,494	2,057	2,412	2,779	8,742
伝染性紅斑	3	1	2	4	2	6	18	54	56	53	105	268
突発性発しん	20	38	31	33	37	18	177	1,065	984	982	975	4,006
ヘルパンギーナ	111	182	276	478	788	901	2,736	5,863	9,390	14,112	18,176	47,541
流行性耳下腺炎	5	2	4	5	8	4	28	227	287	281	279	1,074
インフルエンザ	242	251	309	189	157	110	1,258	7,483	6,688	6,344	5,896	26,411
新型コロナウイルス感染症	331	389	500	524	773	808	3,325	22,432	25,163	27,614	30,255	105,464
急性出血性結膜炎								8	15	8	9	40
流行性角結膜炎	7	4	3	4	2	3	23	226	238	240	257	961
細菌性髄膜炎		1					1	6	10	5	9	25
無菌性髄膜炎				1	1	2	3	8	14	13	13	44
マイコプラズマ肺炎				2	2	3	7	50	28	25	31	134
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									1			1
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								3	3		2	8

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り)

2023年 25 週

	静岡県						全国			
	第20週	第21週	第22週	第23週	第24週	今週	第22週	第23週	第24週	今週
RSウイルス感染症	0.83	1.24	1.85	2.29	2.84	3.73	2.12	2.64	2.90	3.16
咽頭結膜熱	0.44	0.58	0.43	0.61	0.42	0.36	0.61	0.69	0.66	0.61
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.62	0.74	0.73	0.92	0.84	0.76	1.58	1.67	1.62	1.63
感染性胃腸炎	6.35	5.45	5.84	6.27	5.73	4.56	6.61	6.29	5.77	4.98
水痘	0.06	0.11	0.07	0.07	0.11	0.06	0.11	0.13	0.13	0.13
手足口病	0.39	0.43	0.61	0.88	0.99	1.01	0.48	0.66	0.77	0.89
伝染性紅斑	0.03	0.01	0.00	0.04	0.02	0.07	0.02	0.02	0.02	0.03
突発性発しん	0.22	0.43	0.35	0.37	0.42	0.20	0.34	0.31	0.31	0.31
ヘルパンギーナ	1.25	2.04	3.10	5.37	8.85	10.12	1.87	3.00	4.50	5.79
流行性耳下腺炎	0.06	0.02	0.04	0.06	0.09	0.04	0.07	0.09	0.09	0.09
インフルエンザ	1.74	1.81	2.22	1.36	1.13	0.79	1.52	1.36	1.29	1.20
新型コロナウイルス感染症	2.38	2.80	3.60	3.77	5.56	5.81	4.55	5.11	5.60	6.13
急性出血性結膜炎							0.01	0.02	0.01	0.01
流行性角結膜炎	0.32	0.18	0.14	0.18	0.09	0.14	0.33	0.34	0.35	0.37
細菌性髄膜炎		0.10					0.01	0.02	0.01	0.02
無菌性髄膜炎				0.10	0.10	0.20	0.02	0.03	0.03	0.03
マイコプラズマ肺炎				0.20	0.20	0.30	0.10	0.06	0.05	0.06
クラミジア肺炎(オウム病は除く)								0.00		
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.01	0.01		0.00

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

感染症 25 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	332	3.73	32	0.36	68	0.76	406	4.56	5	0.06
賀茂					1	0.50	9	4.50	1	0.50
熱海	6	1.50					5	1.25		
東部	69	5.31	9	0.69	4	0.31	72	5.54		
御殿場	35	8.75	5	1.25	29	7.25	9	2.25		
富士	27	3.00	4	0.44			18	2.00		
静岡市	68	4.25	6	0.38	4	0.25	44	2.75	1	0.06
中部	16	1.45	3	0.27	14	1.27	30	2.73	1	0.09
西部	46	3.83	2	0.17	6	0.50	68	5.67	2	0.17
浜松市	65	3.61	3	0.17	10	0.56	151	8.39		

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	90	1.01	6	0.07	18	0.20	901	10.12	4	0.04
賀茂					1	0.50	4	2.00		
熱海	1	0.25			5	1.25	9	2.25		
東部	2	0.15			1	0.08	105	8.08	1	0.08
御殿場	1	0.25			1	0.25	39	9.75		
富士	4	0.44			2	0.22	186	20.67	1	0.11
静岡市	12	0.75					149	9.31		
中部	38	3.45	4	0.36	1	0.09	92	8.36		
西部	7	0.58	1	0.08	2	0.17	169	14.08		
浜松市	25	1.39	1	0.06	5	0.28	148	8.22	2	0.11

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	110	0.79	808	5.81	0	1	0	0	89	50
賀茂	1	0.33	21	7.00					2	1
熱海	1	0.17	90	15.00					4	2
東部	1	0.05	113	5.65					13	7
御殿場	6	1.00	119	19.83					4	2
富士	21	1.40	123	8.20					9	6
静岡市	5	0.20	117	4.68					16	9
中部	44	2.59	68	4.00					11	6
西部			77	4.05					12	7
浜松市	31	1.11	80	2.86		1			18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

感染症 25 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		3	0.14	0		2	0.20	3	0.30
賀茂										
熱海									3	3.00
東部			1	0.25						
御殿場										
富士							2	2.00		
静岡市										
中部										
西部			2	0.50						
浜松市										

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

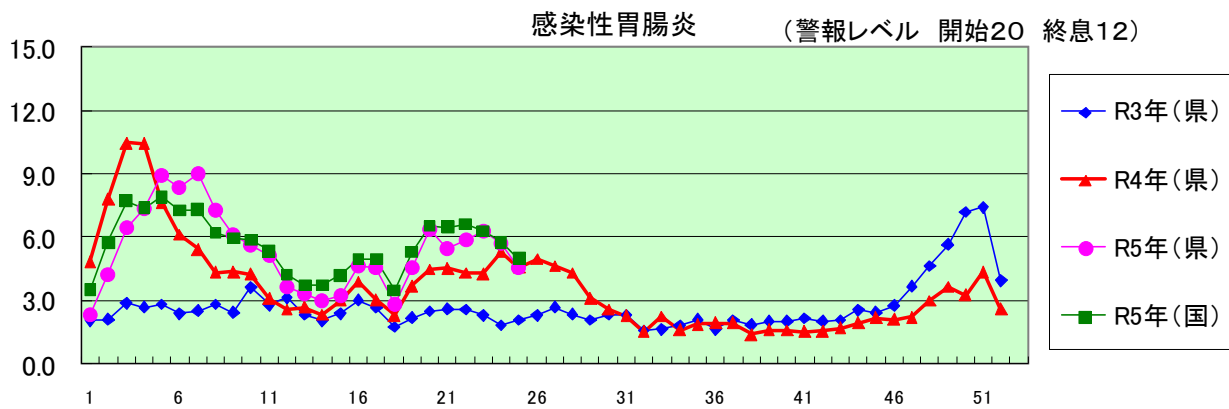
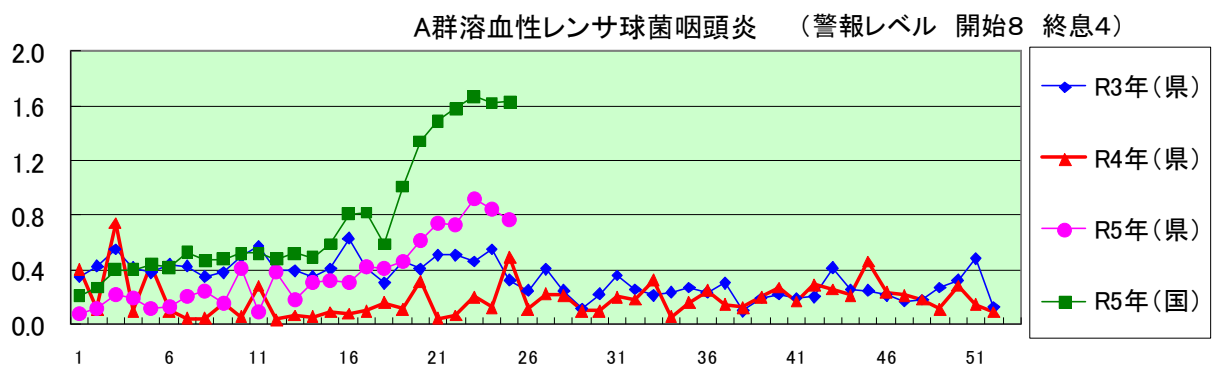
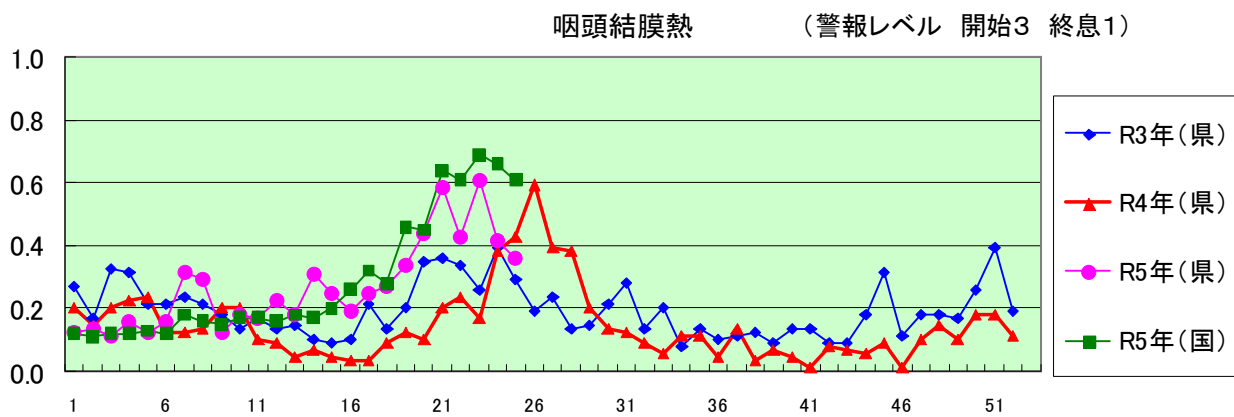
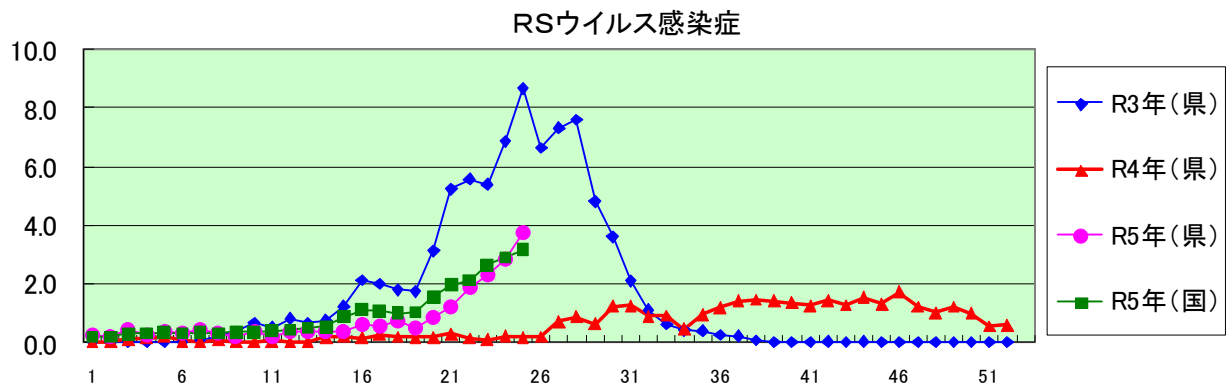
2023年 25 週

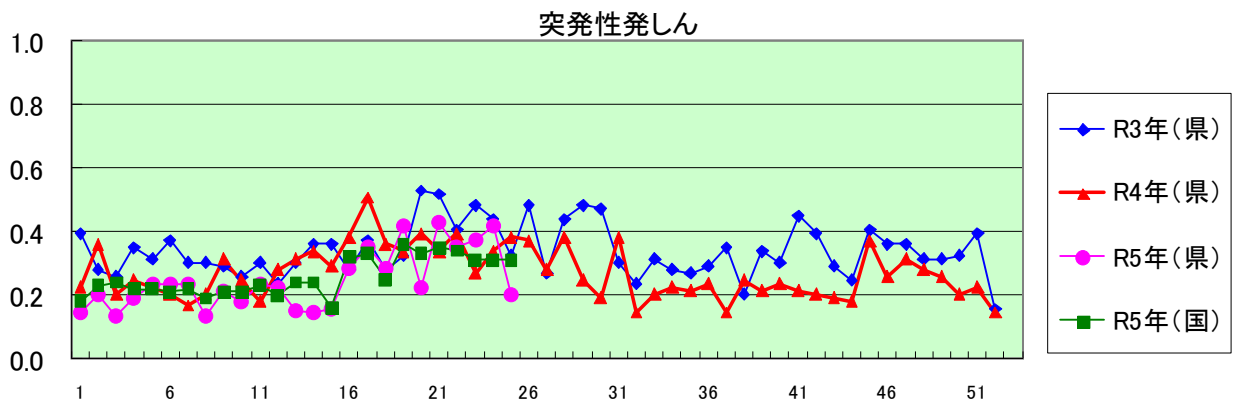
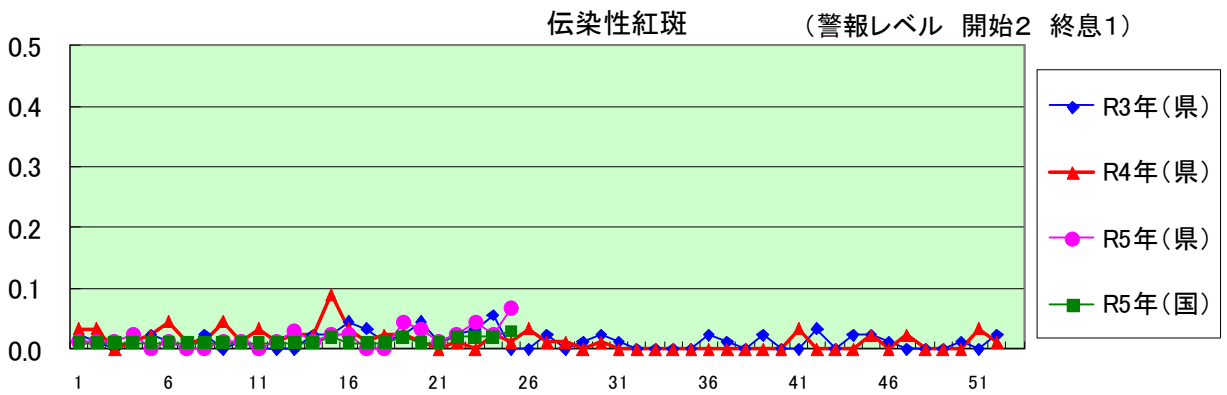
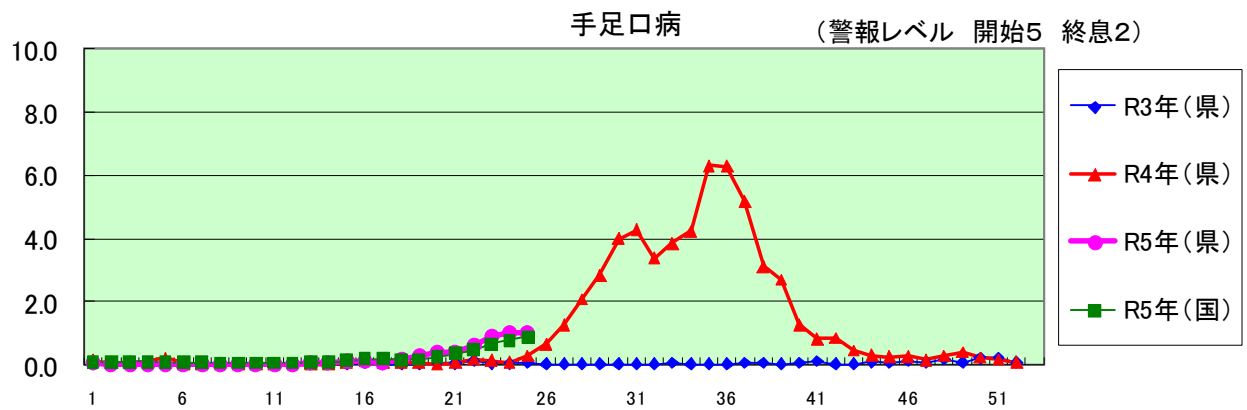
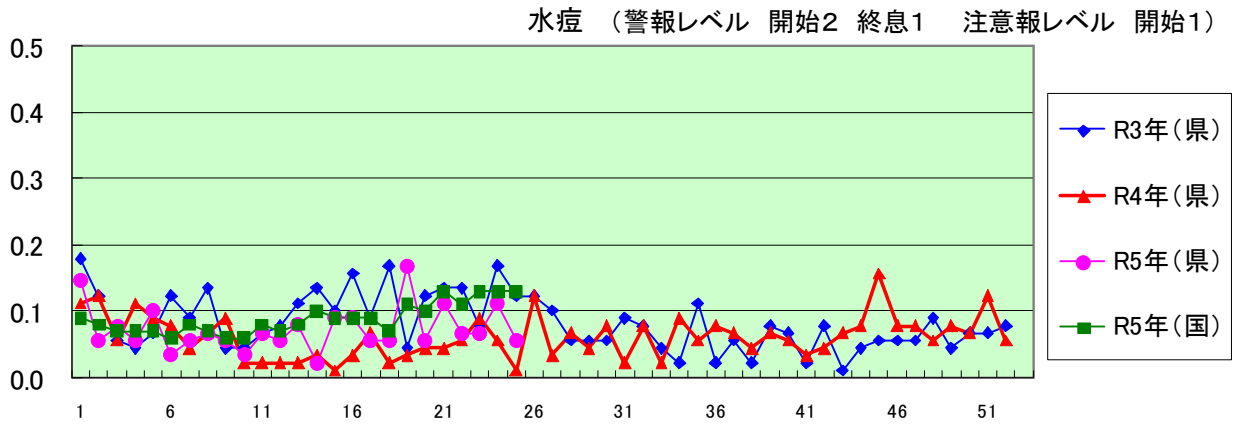
年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
〃(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上								
〃(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上			
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						
RSウイルス感染症	36	40	93	62	45	25	21	5	2	2			1								332	
咽頭結膜熱		3	9	3	5	3	5	4													32	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3	3	2	7	16	10	5	6	5	10	1								68	
感染性胃腸炎	7	25	54	66	48	47	38	41	25	10	10	27	5	3								406
水痘						2		1			2									5		
手足口病	1	6	23	13	14	16	5	5	3	2				2								90
伝染性紅斑			1	3	1			1												6		
突発性発しん		9	9																	18		
ヘルパンギーナ	6	42	160	178	142	148	117	48	27	12	7	10	3	1								901
流行性耳下腺炎							1	1	1	1										4		
インフルエンザ		1	3	2	2	6	10	18	15	16	5	12	8	1	3	5	1			2	110	
新型コロナウイルス感染症	3	7	9	8	13	7	20	8	5	11	16	93	93	84	77	92	99	62	58	43	808	
急性出血性結膜炎																						
流行性角結膜炎													1	1	1						3	
細菌性髄膜炎																						
無菌性髄膜炎					1					1											2	
マイコプラズマ肺炎		2														1					3	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																						
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに属する。)																						

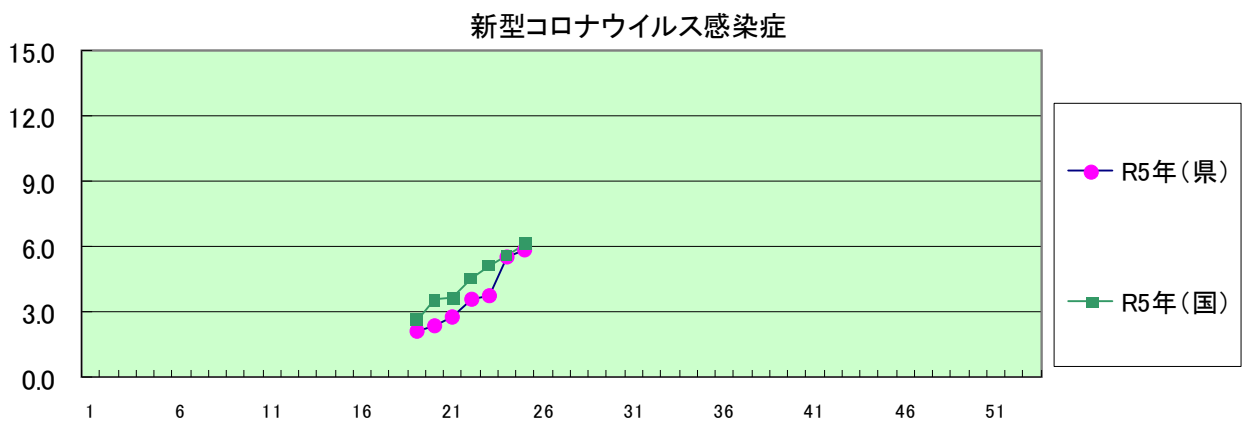
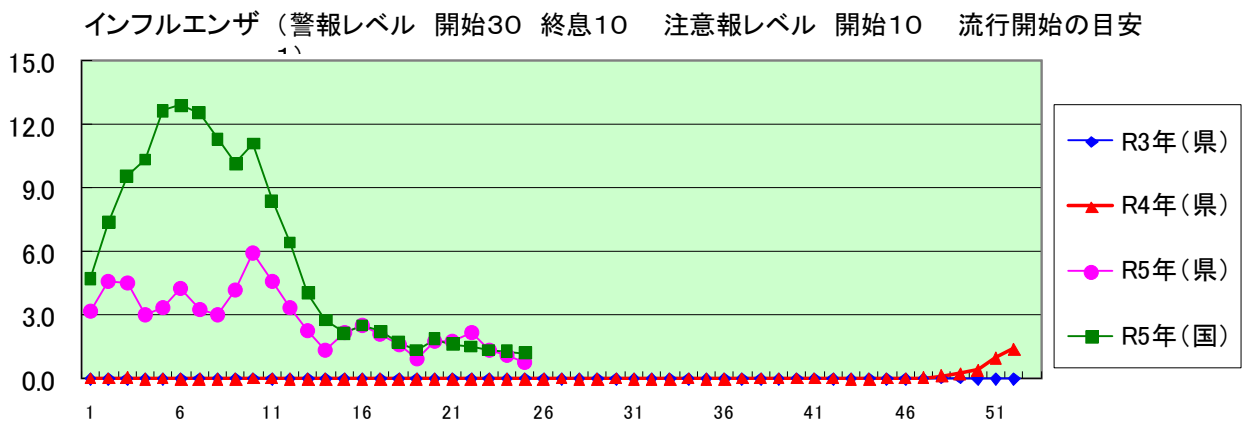
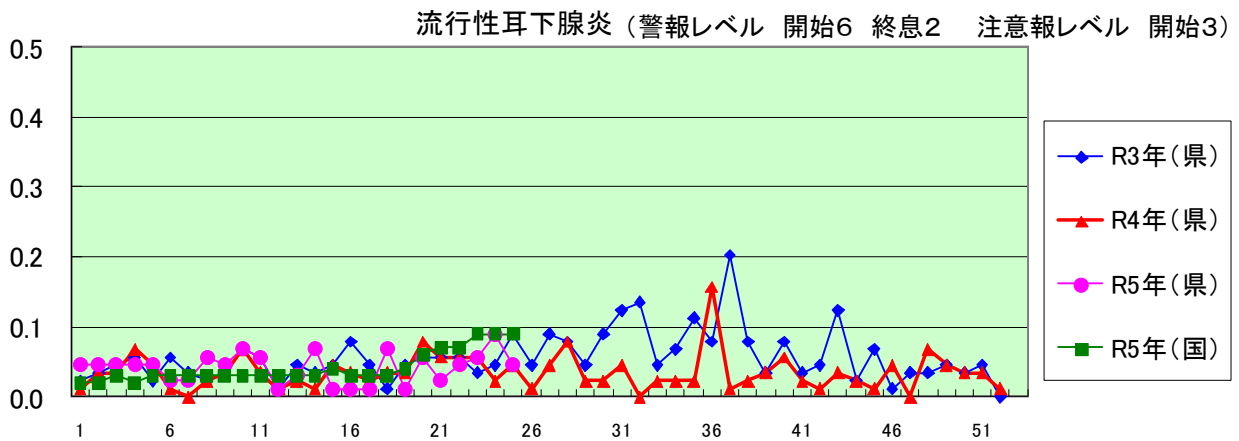
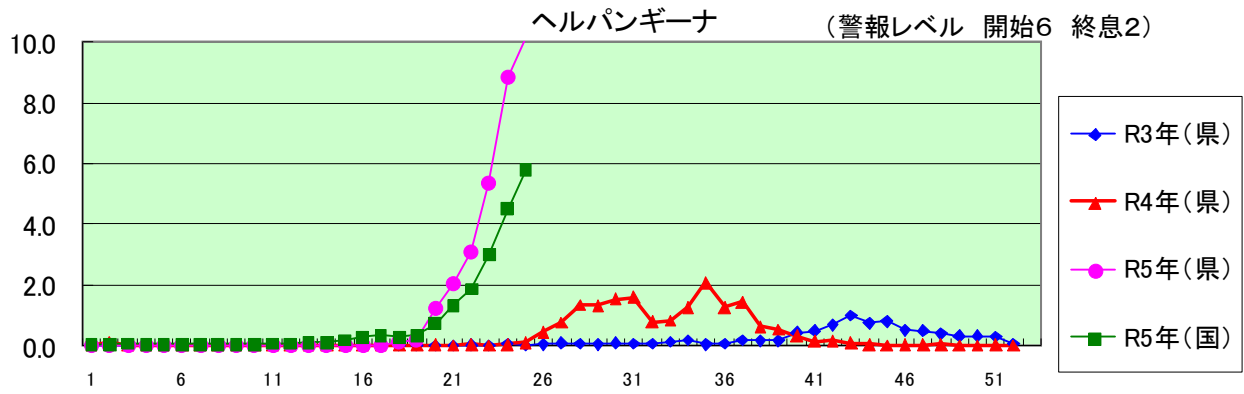
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

2023年 25 週

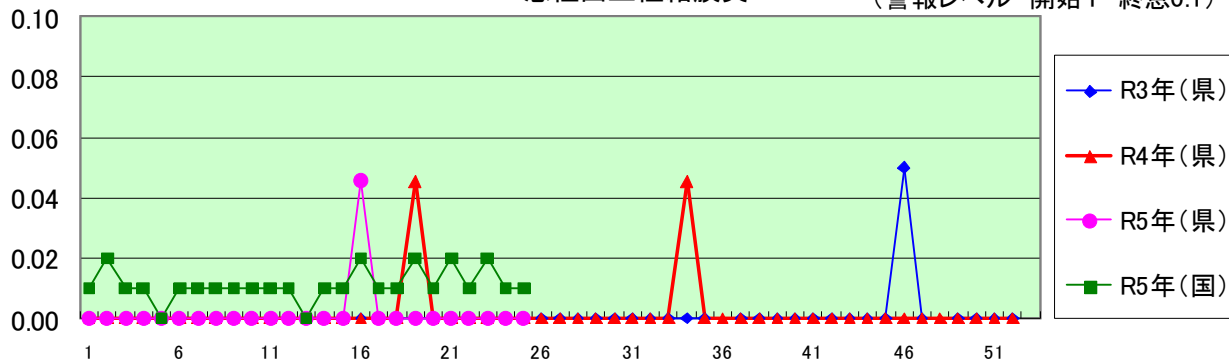
年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
〃(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上								
〃(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上			
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						
RSウイルス感染症	0.41	0.45	1.06	0.70	0.51	0.28	0.24	0.06	0.02	0.02			0.01								3.73	
咽頭結膜熱		0.03	0.10	0.03	0.06	0.03	0.06	0.05													0.36	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.03	0.03	0.02	0.08	0.18	0.11	0.06	0.07	0.06	0.11	0.01								0.76	
感染性胃腸炎	0.08	0.28	0.61	0.75	0.55	0.53	0.43	0.47	0.28	0.11	0.11	0.31	0.06	0.03								4.56
水痘						0.02		0.01			0.02									0.06		
手足口病	0.01	0.07	0.26	0.15	0.16	0.18	0.06	0.06	0.03	0.02				0.02								1.01
伝染性紅斑			0.01	0.03	0.01			0.01												0.07		
突発性発しん		0.10	0.10																	0.20		
ヘルパンギーナ	0.07	0.48	1.82	2.02	1.61	1.68	1.33	0.55	0.31	0.14	0.08	0.11	0.03	0.01								10.12
流行性耳下腺炎							0.01	0.01	0.01	0.01										0.04		
インフルエンザ		0.01	0.02	0.01	0.01	0.04	0.07	0.13	0.11	0.12	0.04	0.09	0.06	0.01	0.02	0.04	0.01			0.01	0.79	
新型コロナウイルス感染症	0.02	0.05	0.06	0.06	0.09	0.05	0.14	0.06	0.04	0.08	0.12	0.67	0.67	0.60	0.55	0.66	0.71	0.45	0.42	0.31	5.81	
急性出血性結膜炎																						
流行性角結膜炎													0.05	0.05	0.05						0.14	
細菌性髄膜炎																						
無菌性髄膜炎					0.10					0.10											0.20	
マイコプラズマ肺炎		0.20														0.10					0.30	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																						
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに属する。)																						



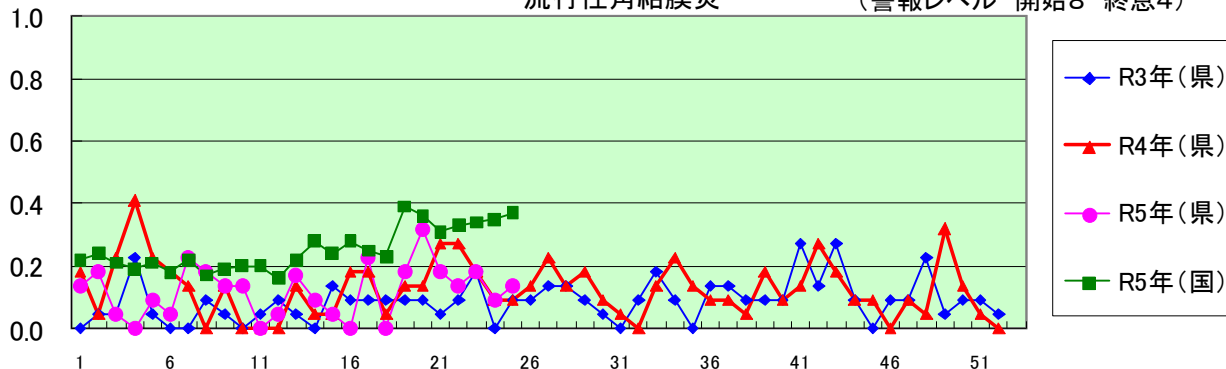




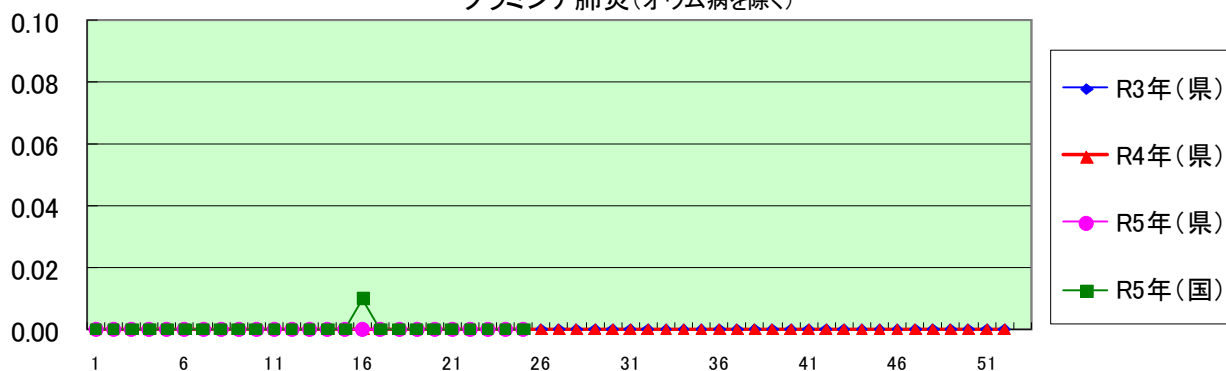
急性出血性結膜炎 (警報レベル 開始1 終息0.1)



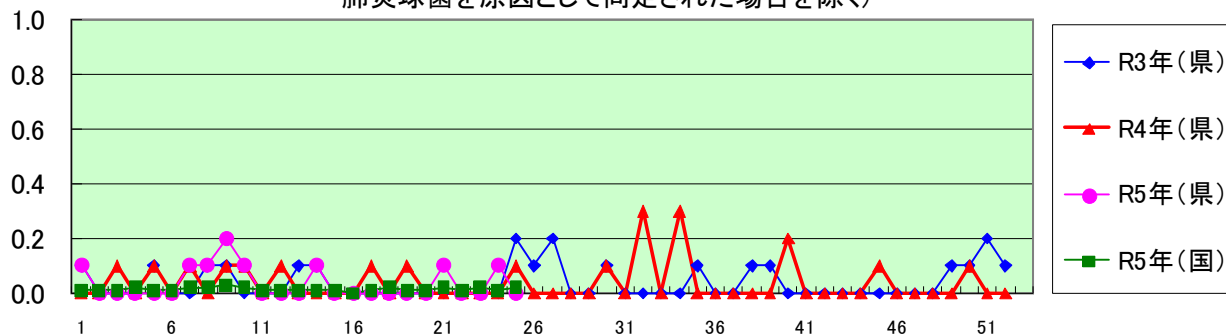
流行性角結膜炎 (警報レベル 開始8 終息4)



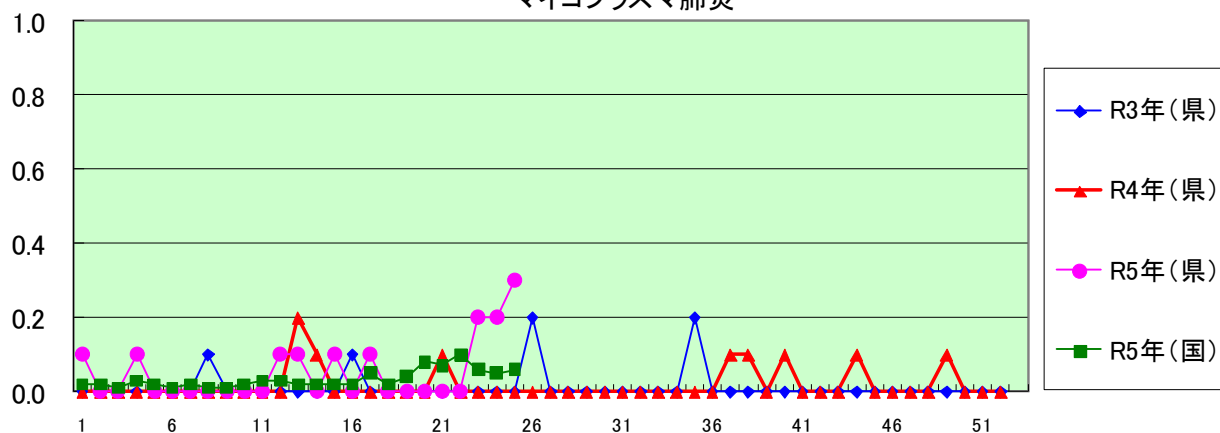
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



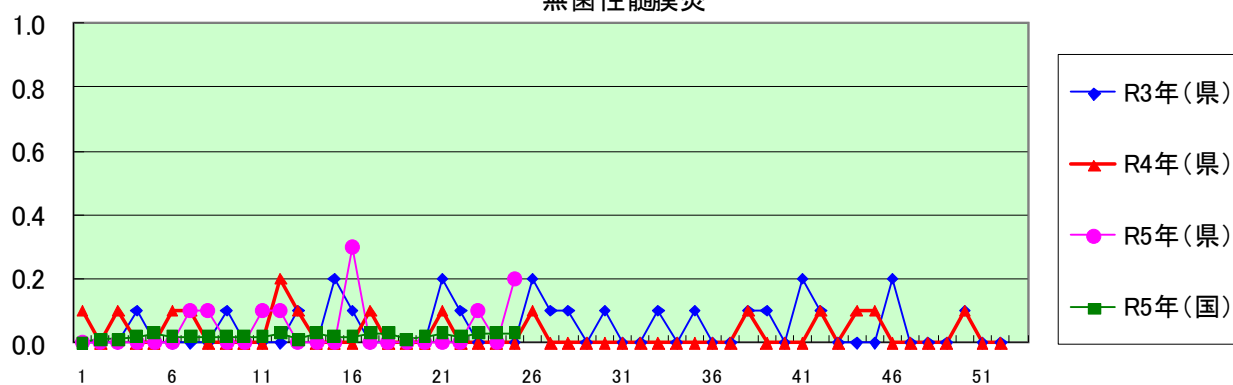
細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)



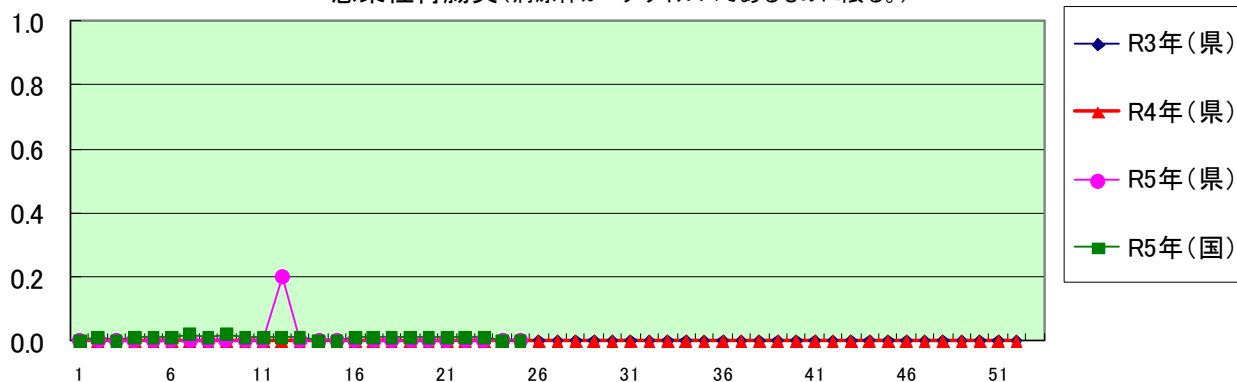
マイコプラズマ肺炎



無菌性髄膜炎



感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2023年 5 月

	静岡県							全国				
	12月	1月	2月	3月	4月	今月	計	2月	3月	4月	今月	計
性器クラミジア感染症	49	49	47	42	43	44	274	2,380	2,603	2,512	2,708	10,203
性器ヘルペスウイルス感染症	19	11	10	14	18	15	87	670	818	758	798	3,044
尖圭コンジローマ	6	10	12	12	20	12	72	526	577	562	610	2,275
淋菌感染症	11	18	11	20	8	13	81	691	857	773	831	3,152
性器クラミジア感染症(男)	18	16	19	12	13	13	91	1,227	1,330	1,302	1,410	5,269
性器クラミジア感染症(女)	31	33	28	30	30	31	183	1,153	1,273	1,210	1,298	4,934
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	5	4	1	2	7	5	24	249	315	293	317	1,174
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	14	7	9	12	11	10	63	421	503	465	481	1,870
尖圭コンジローマ(男)	3	6	9	1	8	3	30	352	372	379	410	1,513
尖圭コンジローマ(女)	3	4	3	11	12	9	42	174	205	183	200	762
淋菌感染症(男)	6	13	8	12	7	10	56	512	653	585	620	2,370
淋菌感染症(女)	5	5	3	8	1	3	25	179	204	188	211	782
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	10	13	18	18	25	25	109	1,209	1,207	1,012	1,210	4,638
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								70	61	57	116	304
薬剤耐性緑膿菌感染症								10	8	4	8	30

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2023年 5 月

	静岡県						全国			
	12月	1月	2月	3月	4月	今月	2月	3月	4月	今月
性器クラミジア感染症	1.63	1.63	1.57	1.40	1.43	1.47	2.42	2.66	2.57	2.76
性器ヘルペスウイルス感染症	0.63	0.37	0.33	0.47	0.60	0.50	0.68	0.84	0.78	0.81
尖圭コンジローマ	0.20	0.33	0.40	0.40	0.67	0.40	0.54	0.59	0.58	0.62
淋菌感染症	0.37	0.60	0.37	0.67	0.27	0.43	0.70	0.88	0.79	0.85
性器クラミジア感染症(男)	0.60	0.53	0.63	0.40	0.43	0.43	1.25	1.36	1.33	1.44
性器クラミジア感染症(女)	1.03	1.10	0.93	1.00	1.00	1.03	1.17	1.30	1.24	1.32
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.17	0.13	0.03	0.07	0.23	0.17	0.25	0.32	0.30	0.32
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.47	0.23	0.30	0.40	0.37	0.33	0.43	0.51	0.48	0.49
尖圭コンジローマ(男)	0.10	0.20	0.30	0.03	0.27	0.10	0.36	0.38	0.39	0.42
尖圭コンジローマ(女)	0.10	0.13	0.10	0.37	0.40	0.30	0.18	0.21	0.19	0.20
淋菌感染症(男)	0.20	0.43	0.27	0.37	0.23	0.33	0.52	0.67	0.60	0.63
淋菌感染症(女)	0.17	0.17	0.10	0.27	0.03	0.10	0.18	0.21	0.19	0.22
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.00	1.30	1.80	1.80	2.50	2.50	2.53	2.55	2.14	2.54
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.15	0.13	0.12	0.24
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.02	0.02	0.01	0.02

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2023年 5 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	44	1.47	15	0.50	12	0.40	13	0.43
賀茂								
熱海	4	4.00					1	1.00
東部	2	0.40	1	0.20	1	0.20		
御殿場	4	4.00						
富士	12	4.00	6	2.00			7	2.33
静岡市	11	1.83	5	0.83	6	1.00	3	0.50
中部	5	1.25	3	0.75	2	0.50	2	0.50
西部	5	1.00						
浜松市	1	0.20			3	0.60		

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	25	2.50	0		0	
賀茂	1	1.00				
熱海	1	1.00				
東部	2	2.00				
御殿場						
富士	1	1.00				
静岡市	12	6.00				
中部	1	1.00				
西部	4	4.00				
浜松市	3	1.50				

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

2023年 5 月

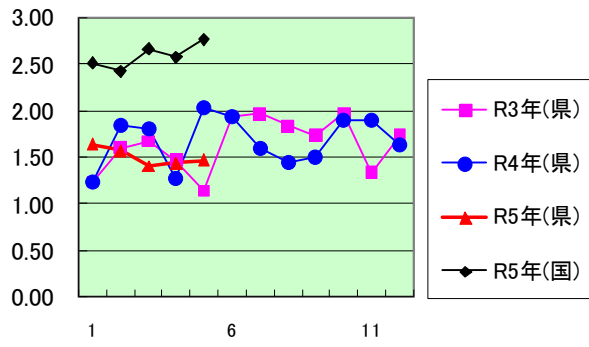
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					3	15	6	5	6	1	6	1	1				44
性器ヘルペスウイルス感染症					2	2	2	2	1		1	1	3			1	15
尖圭コンジローマ					1	1		4			2	1	2			1	12
淋菌感染症					2	2	1	1	1		3		3				13
性器クラミジア感染症(男)					1	3		2	2		4		1				13
性器クラミジア感染症(女)					2	12	6	3	4	1	2	1					31
性器ヘルペスウイルス感染症(男)					1	1		1					2				5
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					1	1	2	1	1		1	1	1			1	10
尖圭コンジローマ(男)								1			1		1				3
尖圭コンジローマ(女)					1	1		3			1	1	1			1	9
淋菌感染症(男)						1	1	1	1		3		3				10
淋菌感染症(女)					2	1											3
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1								1		1	2	1	1	1	17	25
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

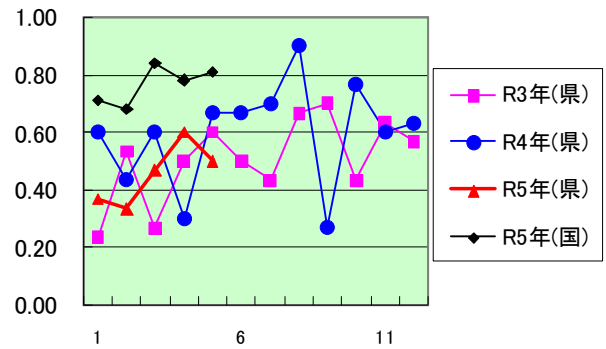
2023年 5 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.10	0.50	0.20	0.17	0.20	0.03	0.20	0.03	0.03				1.47
性器ヘルペスウイルス感染症					0.07	0.07	0.07	0.07	0.03		0.03	0.03	0.10			0.03	0.50
尖圭コンジローマ					0.03	0.03		0.13			0.07	0.03	0.07			0.03	0.40
淋菌感染症					0.07	0.07	0.03	0.03	0.03		0.10		0.10				0.43
性器クラミジア感染症(男)					0.03	0.10		0.07	0.07		0.13		0.03				0.43
性器クラミジア感染症(女)					0.07	0.40	0.20	0.10	0.13	0.03	0.07	0.03					1.03
性器ヘルペスウイルス感染症(男)					0.03	0.03		0.03					0.07				0.17
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					0.03	0.03	0.07	0.03	0.03		0.03	0.03	0.03			0.03	0.33
尖圭コンジローマ(男)								0.03			0.03		0.03				0.10
尖圭コンジローマ(女)					0.03	0.03		0.10			0.03	0.03	0.03			0.03	0.30
淋菌感染症(男)						0.03	0.03	0.03	0.03		0.10		0.10				0.33
淋菌感染症(女)					0.07	0.03											0.10
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0.10								0.10		0.10	0.20	0.10	0.10	0.10	1.70	2.50
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

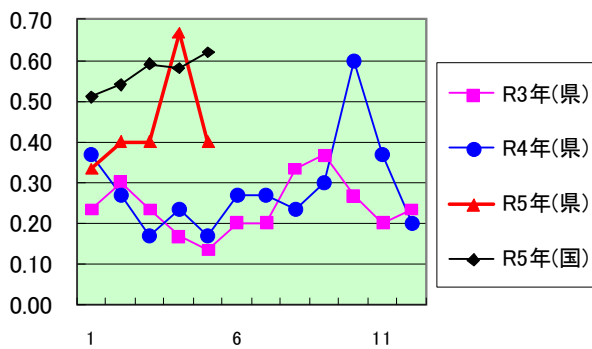
性器クラミジア感染症



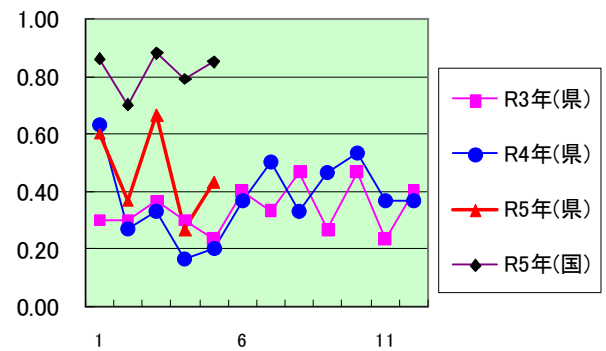
性器ヘルペスウイルス感染症



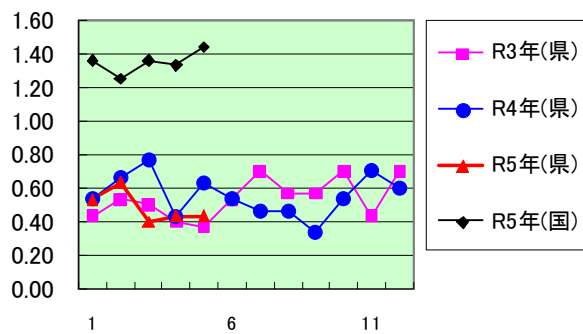
尖圭コンジローマ



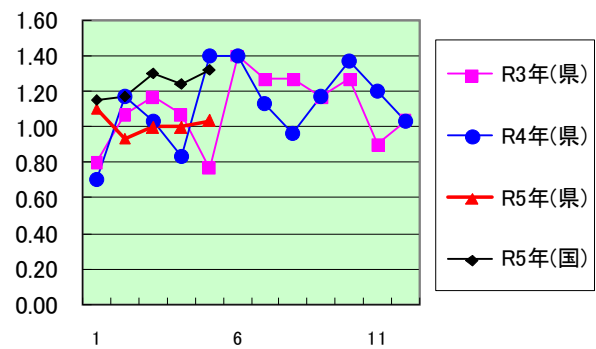
淋菌感染症



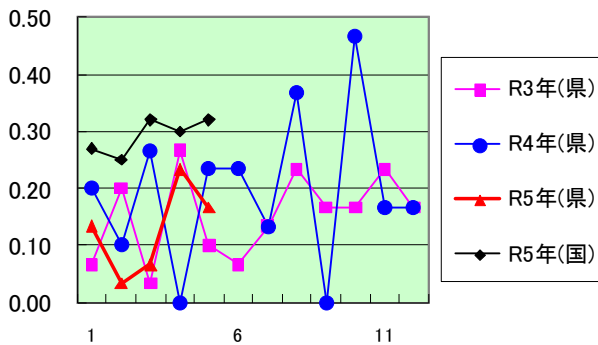
性器クラミジア感染症(男)



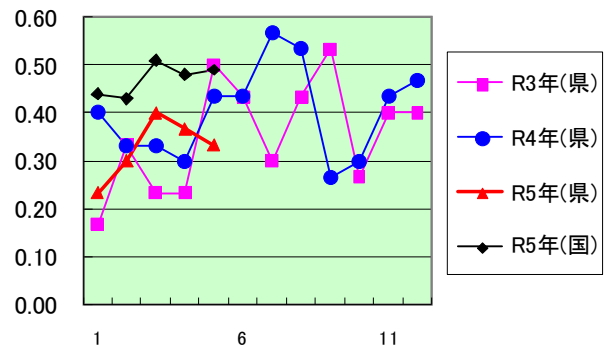
性器クラミジア感染症(女)



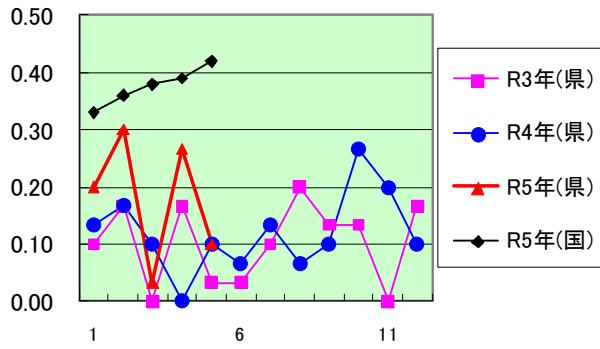
性器ヘルペスウイルス感染症(男)



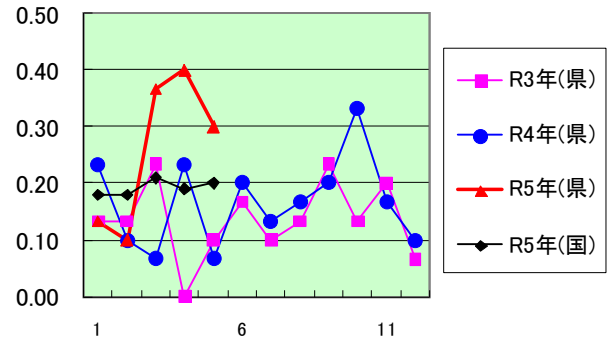
性器ヘルペスウイルス感染症(女)



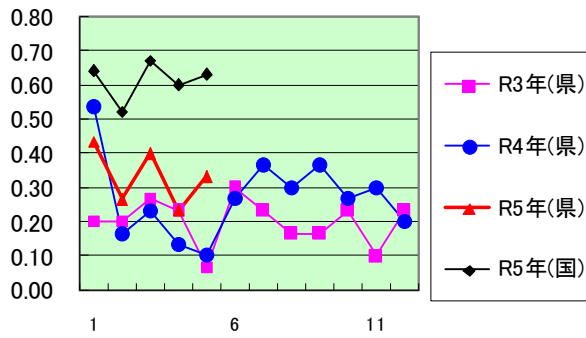
尖圭コンジローマ(男)



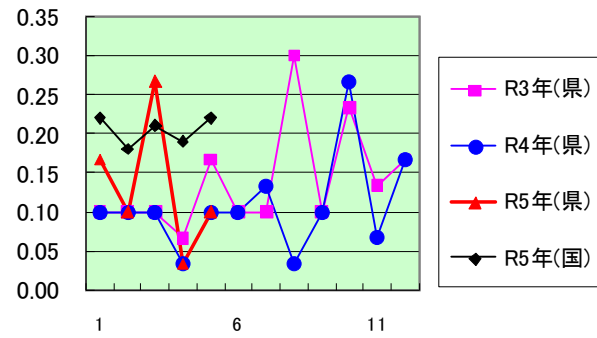
尖圭コンジローマ(女)



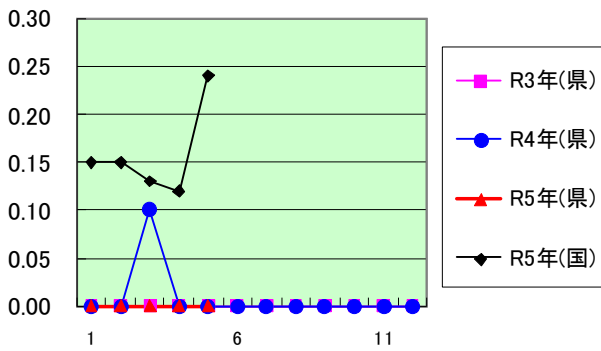
淋菌感染症(男)



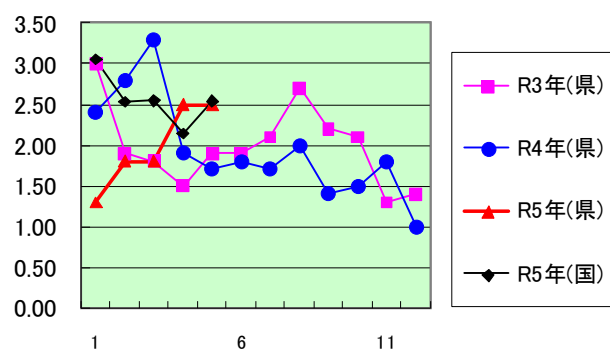
淋菌感染症(女)



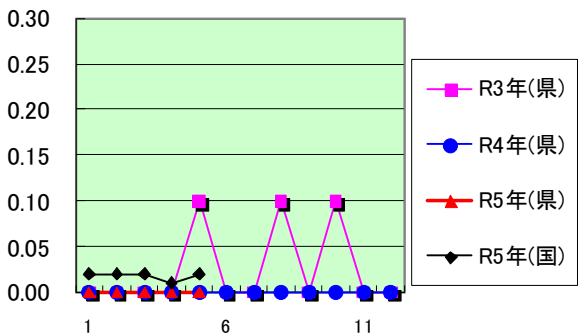
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

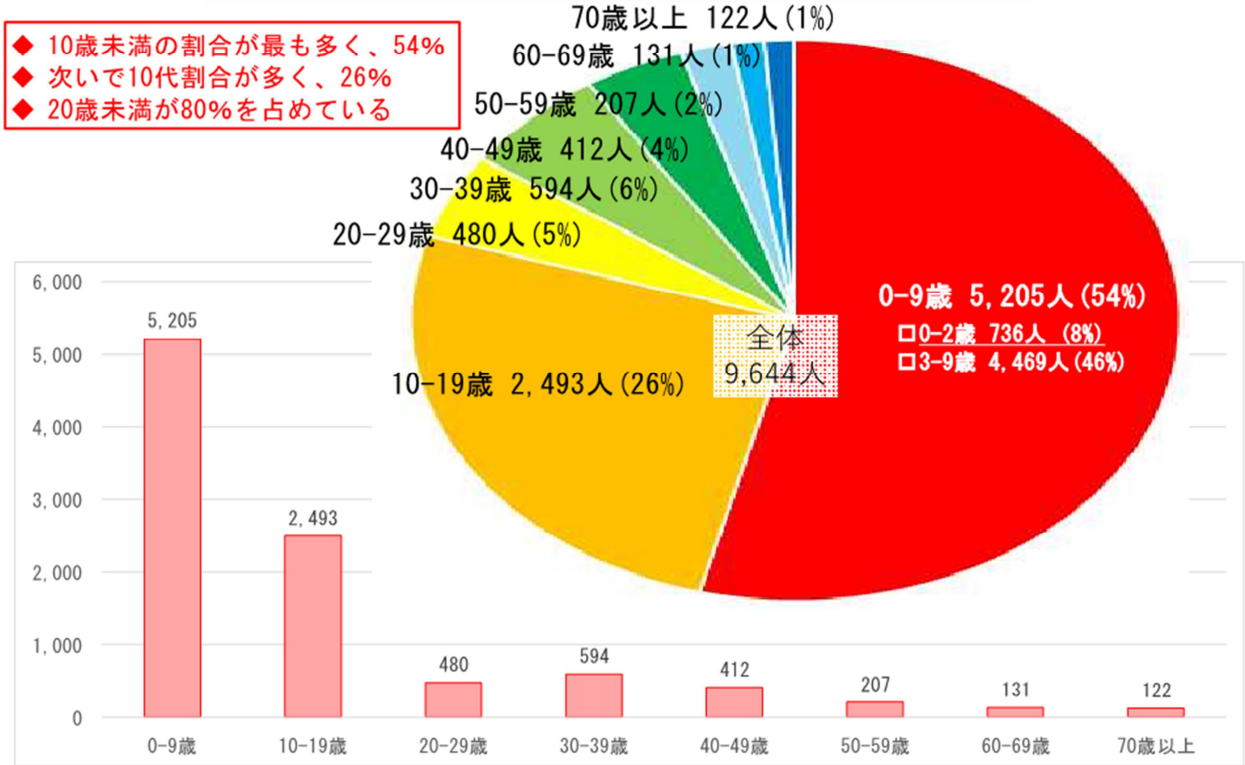


薬剤耐性緑膿菌感染症

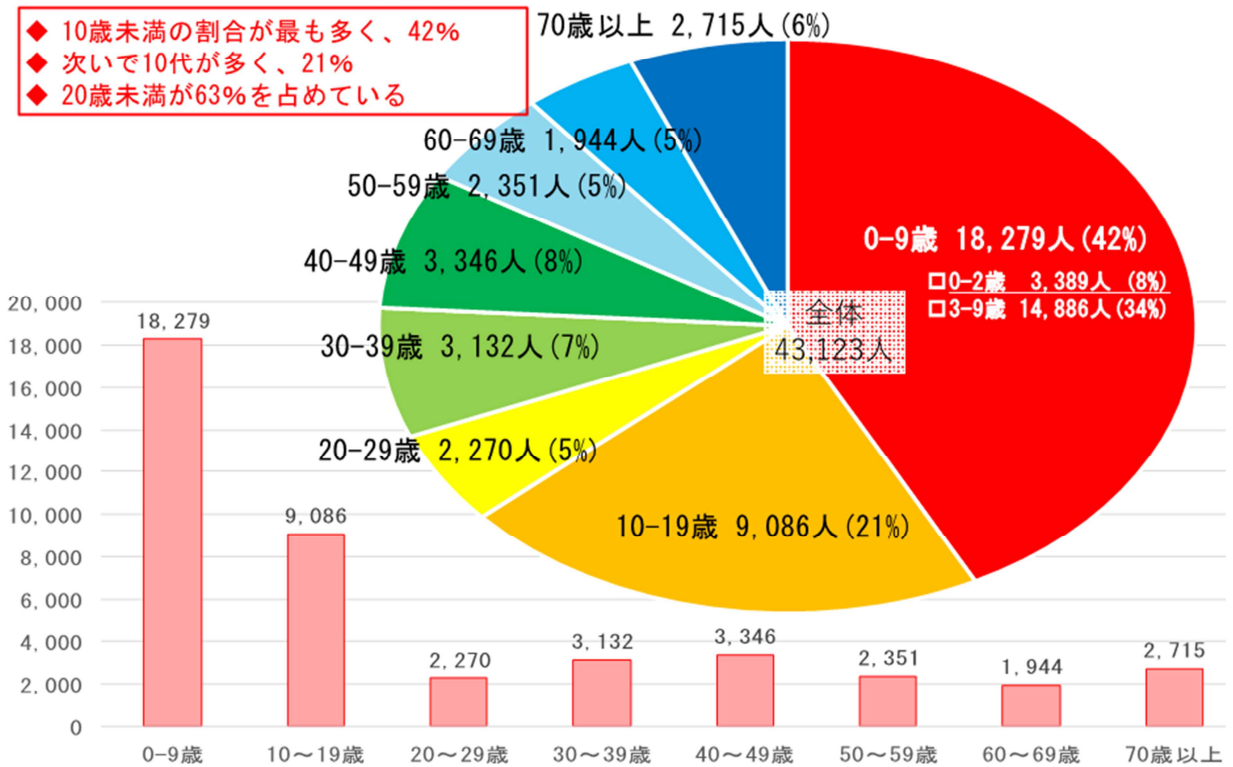


定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

静岡県の今シーズンのインフルエンザ年齢別の累積報告数・割合 2023年第22週(5/29-6/4)時点 (政令市含む全県)

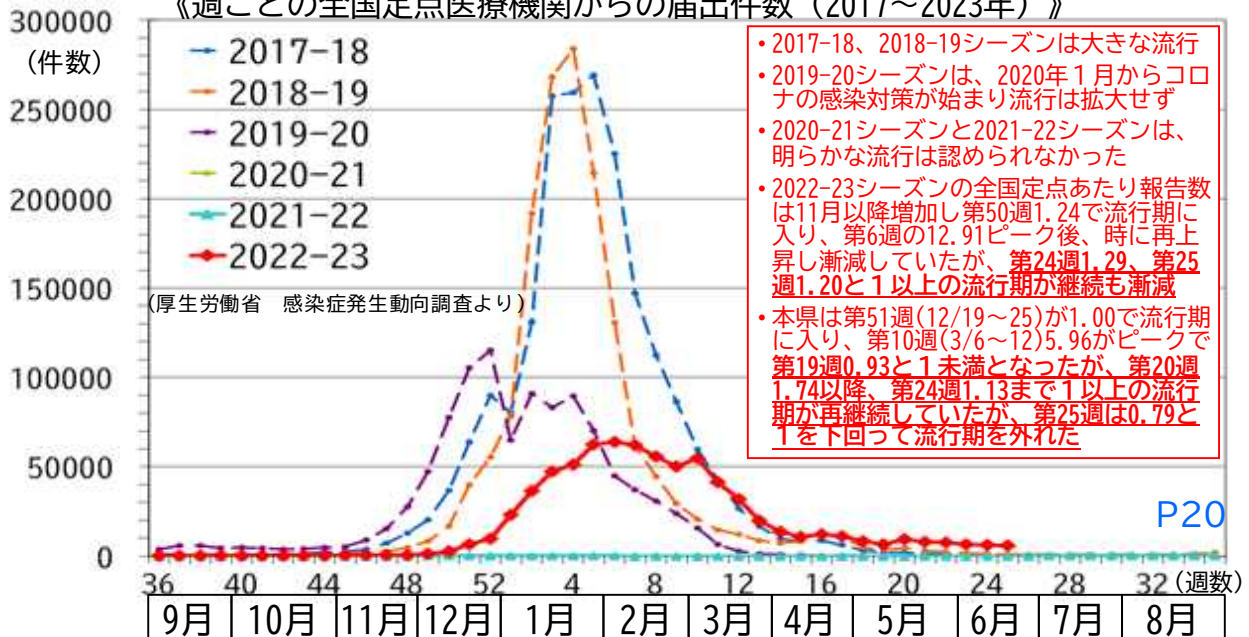


前回、例年並の流行が見られた静岡県の2018-19シーズンの インフルエンザ年齢別の累積報告数・割合 (政令市含む全県)



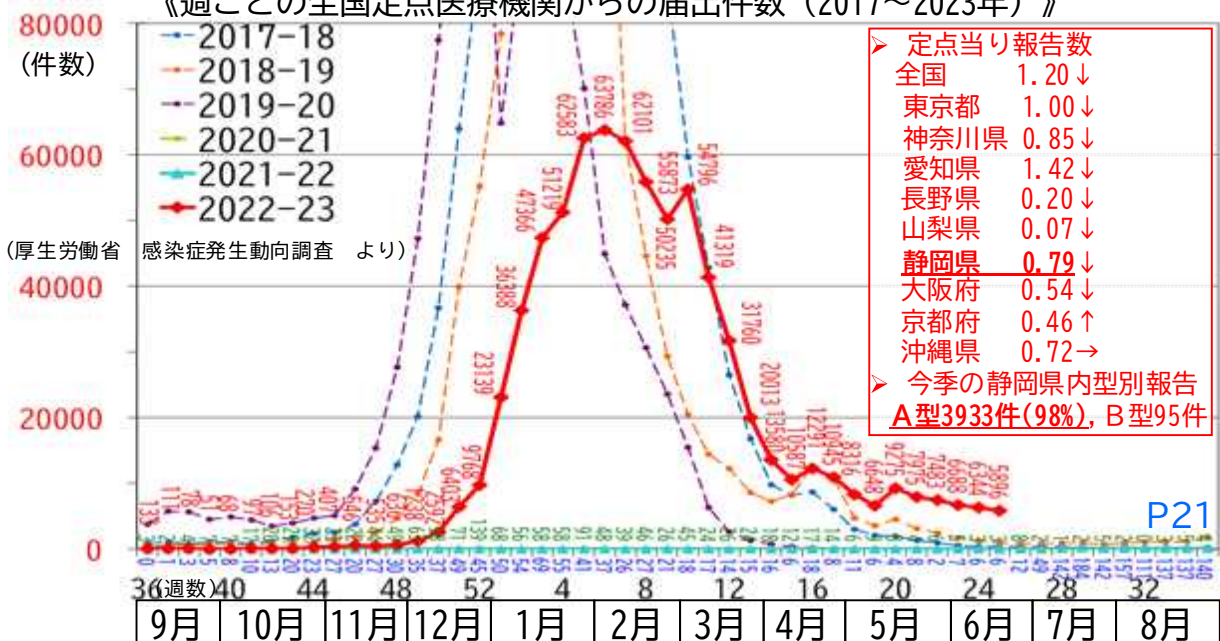
全国 今季のインフルエンザ流行状況 (6/19~25 第25週時点)

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数 (2017~2023年)》

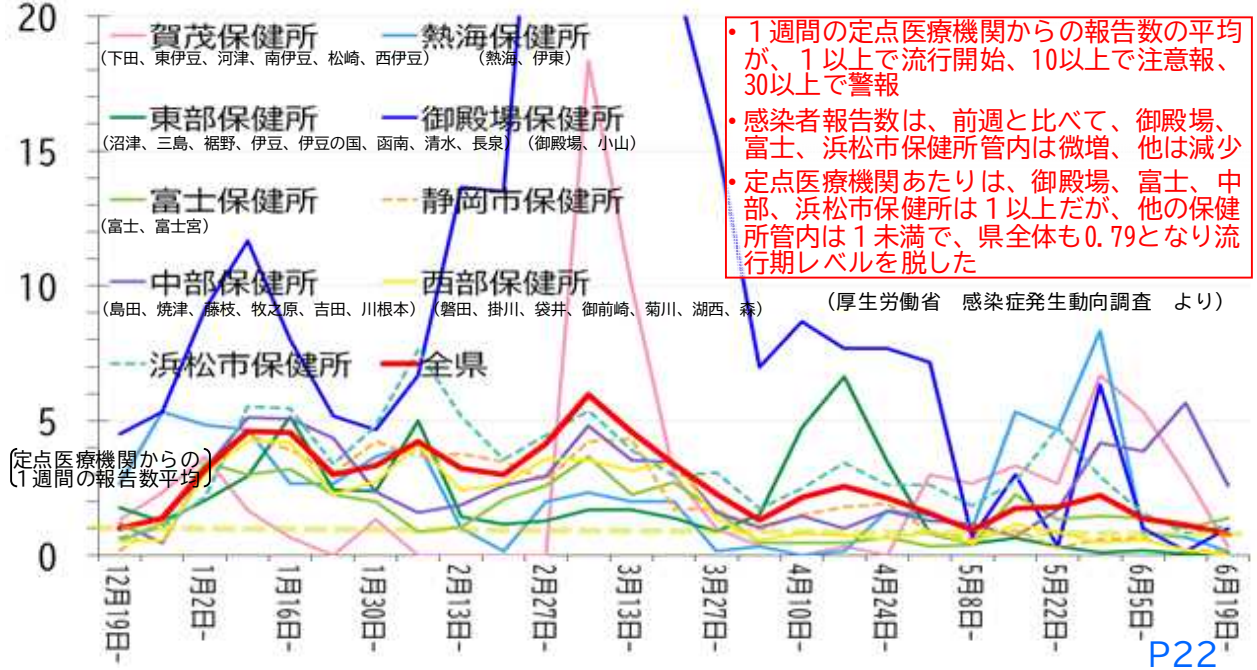


全国 今季のインフルエンザ流行状況 (6/19~25 第25週時点) 【拡大】

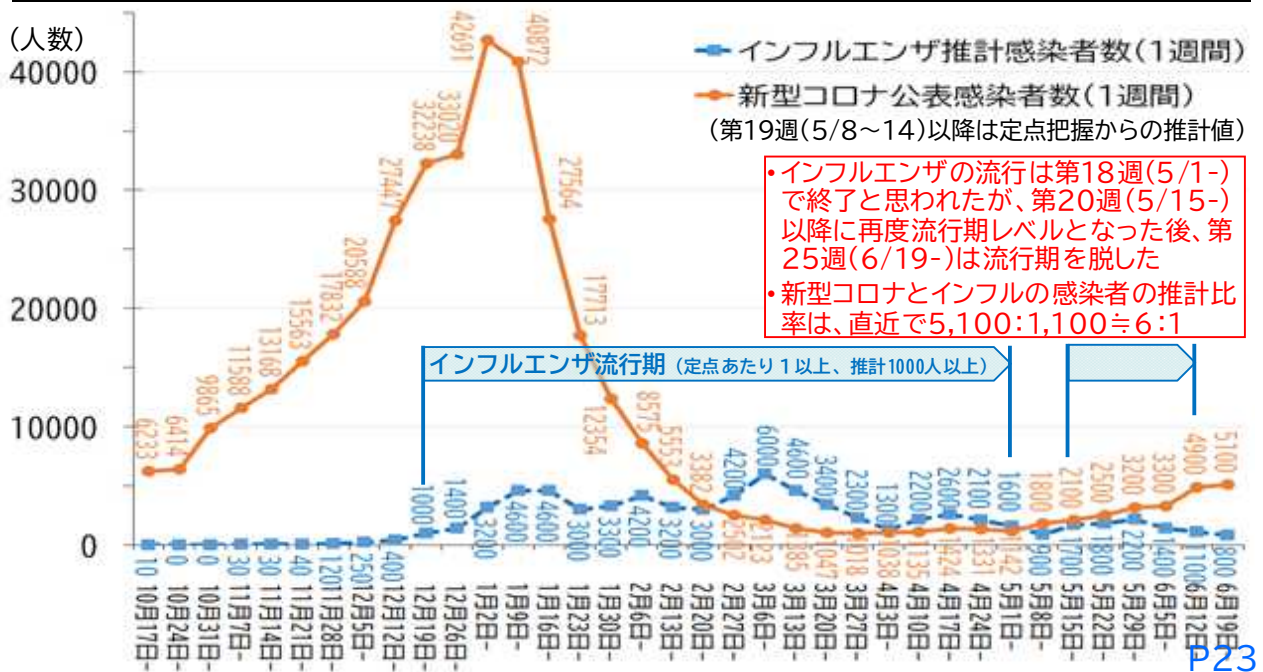
《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数 (2017~2023年)》



静岡県の保健所管内別 1週間のインフルエンザ感染者 定点医療機関からの報告数 (2022. 11/7~2023. 6/25)



静岡県 新型コロナとインフルエンザの同時流行の状況 (2022. 10/17~2023. 6/25)



提供日 2023/06/27
タイトル 県内で麻疹（はしか）患者が発生しました
担当 健康福祉部 感染症対策局感染症対策課
連絡先 ふじのくに感染症管理センター
TEL 055-928-7272



～県内で麻疹（はしか）患者が発生しました～

1 要旨

6月26日、西部保健所管内の医療機関から西部保健所に、発熱、発疹等を訴えて受診した患者について、麻疹感染が疑われる旨の連絡があり、患者検体について、県環境衛生科学研究所で遺伝子検査をしたところ、麻疹と判明しました。患者が周囲への感染性を有する期間（発症1日前（通常発疹出現の3～5日前）から発疹出現後4～5日目くらいまで）の**接触者は全員特定できており、不特定多数との接触が考えられる施設や、公共交通機関の利用はありません。**現在、接触者の健康観察を進めており、発症した場合には直ちに受診するようお願いするなど、感染の拡大防止に努めています。なお、患者は自宅で療養しており、現在快方に向かっています。

2 患者の概要

西部保健所管内 30歳代男性（麻疹予防接種3回接種済（本人の記憶による））
発症日：令和5年6月20日（発熱）、令和5年6月22日（発疹）
診断日：令和5年6月26日
接触者等：患者が周囲への感染性を有する期間の接触者は特定されており、麻疹の感染可能期間に不特定多数との接触が考えられる施設や、公共交通機関の利用はありません。

3 県民の皆様へ

本事例においては接触者が特定できていますが、海外渡航後や、患者との接触後に、麻疹を疑う症状が現れた場合は、下記について、お願いします。

- 麻疹患者と接触した場合は、接触後最大21日間、体調に注意してください。
- 発熱、発疹等の症状から「麻疹」が疑われる場合は、必ずマスクを着用し、事前に医療機関に「麻疹かもしれない」ことを連絡の上、速やかに受診してください。
- 受診の際は、周囲の方へ感染を拡げないよう、公共交通機関等の利用を避けてください。

4 麻疹について

（1）症状等

潜伏期は通常10～12日間（最大21日間）であり、38℃程度の発熱や咳、鼻汁といった風邪のような症状が2～4日続き、その後39℃以上の高熱と共に発疹が出現します。また、麻疹に伴ってさまざまな合併症がみられ、全体では30%にも達するとされます。肺炎や、頻度は低いものの脳炎の合併例もあり、特にこの二つの合併症は麻疹による2大死因となり、注意が必要です。

（2）感染経路

空気（飛沫核）感染のほか、飛沫や接触感染など様々な経路があります。感染力はきわめて強く、麻疹の免疫がない集団に1人の発症者がいたとすると、12～14人の人が感染するとされています（インフルエンザでは1～2人）。

(3) 治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行います。

(4) 予防

ワクチンの効果は非常に高く、ワクチン接種を受けた人の95%以上が免疫を獲得します。しかし、接種しても、数%は免疫が獲得できない場合や、獲得した免疫が持続しない場合があります。現在、1歳（第1期）と小学校入学前年度（第2期）に、MRワクチンの定期予防接種を実施しており、**予防接種をしていれば感染するリスクは少なくなります。麻しんは予防接種で防げる病気であり、ワクチン接種は個人でできる有効な予防方法です。麻しんの定期予防接種をまだ受けていない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けましょう。**

(5) 発生状況（単位：人）

（令和5年は6月27日時点）

年	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
全国	744	10	6	6	19
静岡県	10	1	0	2	2

報道機関各位におかれましては、感染症法の精神に基づき、患者及び患者家族等について、本人等が特定されることのないよう、格段の御配慮をお願いいたします。

提供日 2023/06/28
 タイトル 令和5年度感染症媒介蚊定点モニタリング（6月分）の結果について
 担当 健康福祉部 感染症対策局感染症対策課
 連絡先 ふじのくに感染症管理センター
 TEL 055-928-7272



Shizuoka Prefecture

1 要旨

平成26年のデング熱の大流行を受け、本県では平成27年から、**蚊の生息状況やウイルス保有の定期調査を実施**しています。

令和5年度も、蚊が増える6月～10月の間、県内4地点（賀茂・東部・中部・西部の各地区1地点）で月1回実施します。

この度、6月に実施した、各地点における第1回調査について、結果が判明しましたので、お知らせします。

デングウイルス及びジカウイルスの検査結果は、全て「陰性」でした。

2 調査結果

区 分		6月	合計
笹原公園（賀茂郡河津町）	蚊の数	4	4
	うち、ヒトスジシマカのメス	1	1
	うち、検査結果陽性	0	0
愛鷹広域公園（沼津市）	蚊の数	2	2
	うち、ヒトスジシマカのメス	1	1
	うち、検査結果陽性	0	0
吉田公園（榛原郡吉田町）	蚊の数	5	5
	うち、ヒトスジシマカのメス	5	5
	うち、検査結果陽性	0	0
小笠山総合運動公園（袋井市）	蚊の数	10	10
	うち、ヒトスジシマカのメス	2	2
	うち、検査結果陽性	0	0

今回結果判明分：捕獲した蚊の数 21匹 うち、ヒトスジシマカのメス 9匹（ウイルス検査の結果は全て陰性）

- ・ 公園全体を3区画に分け、各区画内の3地点で8分間ずつ、網で捕獲
- ・ 「蚊の数」は各区画で捕獲された数の合計
- ・ デング熱及びジカウイルス感染症の原因となるデングウイルス、ジカウイルスを媒介するのは日本国内ではヒトスジシマカのメスのみです。
- ・ ヒトスジシマカのメスのみ、デングウイルス、ジカウイルスの検査を実施しています。
- ・ 検査は県環境衛生科学研究所で実施

3 今後の結果公表

今後の調査結果も、各月分の検査結果が判明次第、公表します。（10月まで月1回、計5回予定）

新型コロナウイルス感染症について

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが「5類感染症」となりました。

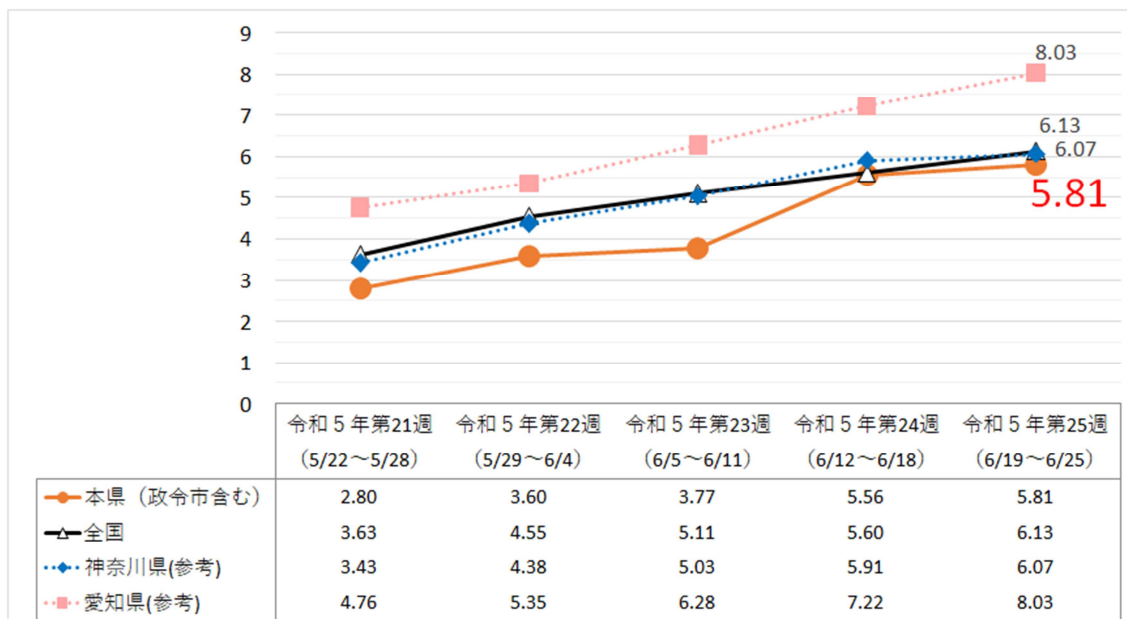
このため、感染状況の把握は、全数を毎日把握する方式ではなく、国が定める基準に従って指定された医療機関（定点医療機関）での患者数を1週間分まとめて把握する方式に変更されています。（季節性インフルエンザと同様の把握方法）

令和5年第25週（令和5年6月19日～6月25日）

★令和5年第25週の感染状況について

- ・県全体の定点医療機関当たり患者数は5.81人/週で、前週(5.56人/週)に比べて増加しています。
- ・この1週間の定点医療機関から報告された感染者数は808人で、前週(773人)に比べて1.05倍です。
- ・この1週間の全感染者数は、約5,100人(1日平均約730人)と推計されます。
- ・熱海保健所管内、御殿場保健所管内が注意報レベルとなっています。

1 定点医療機関当たり患者数（単位：人/週）



全国及び隣接する神奈川県、愛知県も表示します。

2 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜令和5年第25週＞

保健所ごとに定点医療機関1か所当たりの人口や年齢構成などが異なるため、保健所間で数値の単純比較はできません。

保健所名	各保健所の管轄市町名	定点医療機関数 (A)	定点医療機関の感染者数 (B)	定点医療機関当たりの感染者数 (B/A)
賀茂	下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町	3	21	7.00
熱海	熱海市、伊東市	6	90	15.00
東部	沼津市、三島市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町	20	113	5.65
御殿場	御殿場市、小山町	6	119	19.83
富士	富士市、富士宮市	15	123	8.20
県東部地域		50	466	9.32
静岡市	静岡市	25	117	4.68
中部	島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	17	68	4.00
県中部地域		42	185	4.40
西部	磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市、菊川市、湖西市、森町	19	77	4.05
浜松市	浜松市	28	80	2.86
県西部地域		47	157	3.34
県全体		139	808	5.81

3 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜5週間の推移＞

保健所名	定点医療機関数	第21週 (5/22~5/28)	第22週 (5/29~6/4)	第23週 (6/5~6/11)	第24週 (6/12~6/18)	第25週 (6/19~6/25)	前週比推移	県独自の注意報レベル※
賀茂	3	4.00	4.00	3.00	4.33	7.00	→ ↓ ↑ ↑	13以上
熱海	6	4.50	8.50	8.33	11.17	15.00	↑ ↓ ↑ ↑	9以上
東部	20	2.80	5.85	3.60	6.40	5.65	↑ ↓ ↑ ↓	8以上
御殿場	6	11.17	9.33	13.33	10.50	19.83	↓ ↑ ↓ ↑	17以上
富士	15	3.93	4.53	6.13	11.33	8.20	↑ ↑ ↑ ↓	11以上
県東部地域	50	4.42	6.08	6.06	8.82	9.32	↑ ↓ ↑ ↑	10以上
静岡市	25	1.88	2.16	2.92	4.56	4.68	↑ ↑ ↑ ↑	6以上
中部	17	1.41	2.12	1.65	3.24	4.00	↑ ↓ ↑ ↑	8以上
県中部地域	42	1.69	2.14	2.40	4.02	4.40	↑ ↑ ↑ ↑	7以上
西部	19	2.63	2.47	3.05	3.58	4.05	↓ ↑ ↑ ↑	10以上
浜松市	28	1.68	2.11	2.21	3.39	2.86	↑ ↑ ↑ ↓	7以上
県西部地域	47	2.06	2.26	2.55	3.47	3.34	↑ ↑ ↑ ↓	8以上
県全体	139	2.80	3.60	3.77	5.56	5.81	↑ ↑ ↑ ↑	8以上

※県独自の注意報レベル：令和4年10月以降の第8波の新規感染者数の推移から、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を、暫定的に県独自の注意報レベルとして保健所ごとに設定しています。（例えば、賀茂保健所の定点医療機関当たり患者数は13以上で、注意報レベルということになります）

4 警報・注意報

区分	感染状況	保健所・地域名
注意報レベル	感染者が急増するおそれがある状況	熱海保健所管内（熱海市、伊東市） 御殿場保健所管内（御殿場市、小山町）
警報レベル	感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況	なし

<注意報レベルの地域の皆様へ>

注意報レベルの地域では、今後、感染者が急増する可能性がありますので、お住まいの皆様はできるだけ、以下の点に御留意いただくようお願いいたします。

- ① 医療機関の受診時や医療機関・高齢者施設の訪問時にはマスク着用をお願いします。
- ② 急に体調が悪くなった時は、しばらく仕事や学校は休んで、自宅で療養をしてください。
- ③ 人が集まる場所では、換気に注意し、咳・くしゃみが出る時は、ハンカチ等で口をおおうなど咳エチケットをお願いします。

5 感染者全数の推計値

保健所名	定点医療機関の感染者数 (A)	管内の定点割合 (B)※1	管内の感染者全数の推計値 (A/B) ※2
賀茂	21	0.335	-
熱海	90	0.268	-
東部	113	0.150	-
御殿場	119	0.505	-
富士	123	0.215	-
県東部地域	466	0.221	2109
静岡市	117	0.109	-
中部	68	0.154	-
県中部地域	185	0.125	1480
西部	77	0.166	-
浜松市	80	0.117	-
県西部地域	157	0.134	1172
県全体	808	0.158	5114

※1 定点割合

令和4年10月3日から令和5年5月7日までに定点医療機関から報告のあった感染者数を、この期間の全感染者数で割った値。

例えば県全体では、この期間の定点医療機関からの報告数は、全感染者数の15.8% (0.158) でした。

※2 推計値の算出方法

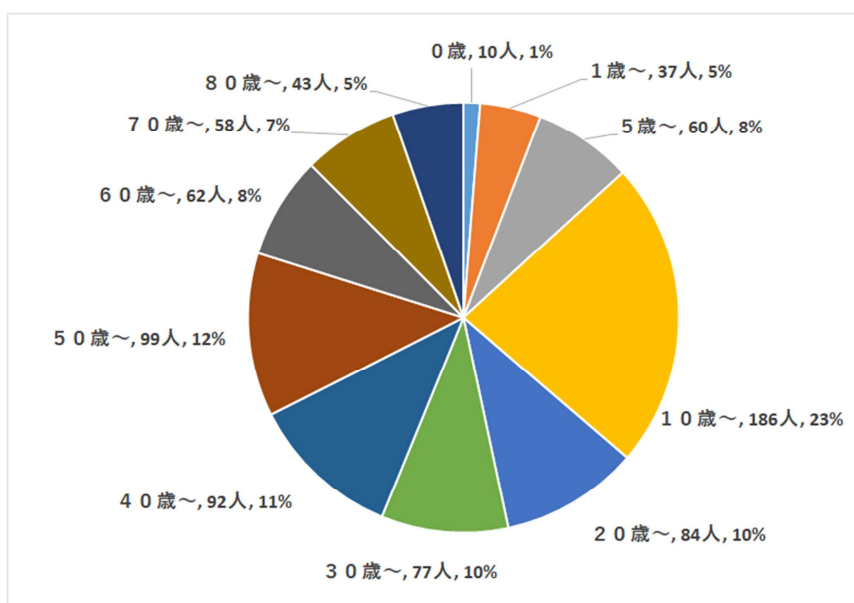
感染者全数の推計値は、定点医療機関の感染者数を定点割合で除して算出しており (A÷B)、県全体の感染者数の全数は、 $808 \div 0.158 = 5114$ 人と推計されます。

各地域ごとに異なる定点割合で推計値を算出しているため、県東部地域、県中部地域、県西部地域の推計値の総和は必ずしも県全体の推計値と同じ値にはなりません。

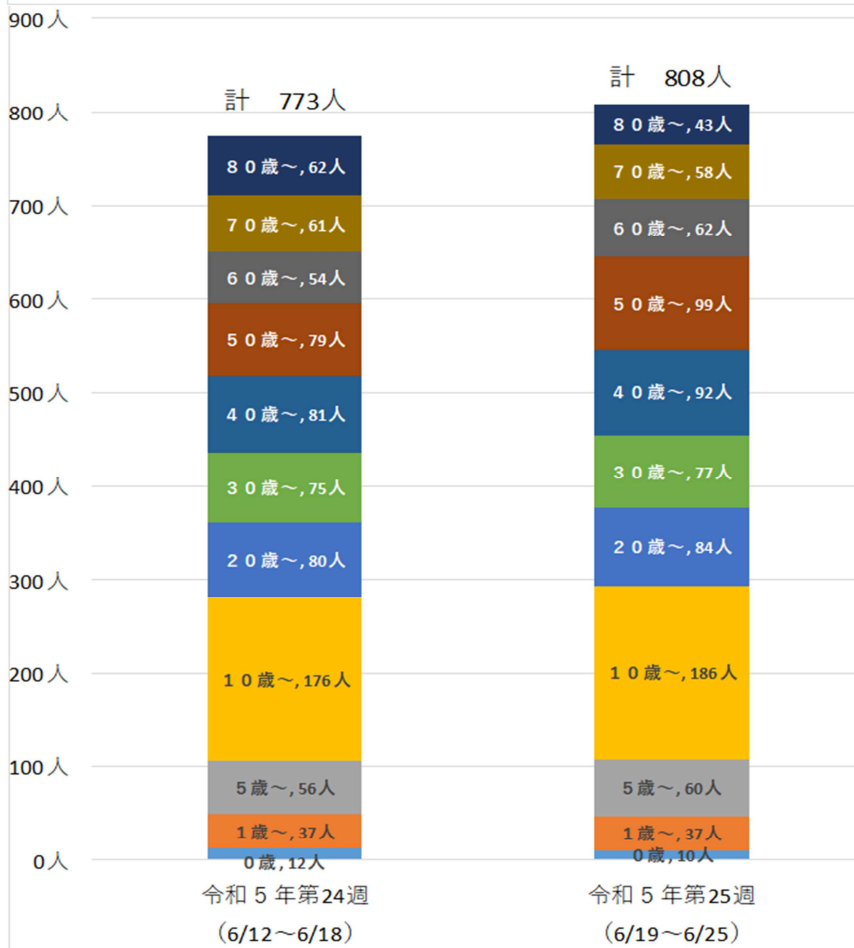
なお、人口が少ない地域は定点医療機関が少なく、算出される推計値は統計的に信頼性が低くなるため、各保健所ごとの推計値は示していません。

6 定点医療機関の年齢階級別患者数

0歳	1歳～	5歳～	10歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～
10人	37人	60人	186人	84人	77人	92人	99人
60歳～	70歳～	80歳～	不明	合計			
62人	58人	43人	0人	808人			



70歳以上の割合は12%です。前週と比較して年代の比率に大きな変化はありません。



70歳以上の人数は、今週は101人、前週は123人です。

7 令和5年5月8日以降（令和5年春開始接種） 高齢者（65歳以上）の3～6回目接種の実績

集計期間	静岡県			(参考)全国
	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率
令和5年第21週 (5/22～5/28)	67,915	163,248	14.81%	14.46%
令和5年第22週 (5/29～6/4)	71,329	234,577	21.28%	21.09%
令和5年第23週 (6/5～6/11)	66,299	300,876	27.29%	27.59%
令和5年第24週 (6/12～6/18)	59,007	359,883	32.65%	33.43%
令和5年第25週 (6/19～6/25)	51,562	411,445	37.33%	38.51%

接種対象者のうち、高齢者以外の基礎疾患のある者、医療従事者及び高齢者施設等従事者は、上表には含まれません。

<p>令和5年春開始接種の概要</p> <p>○接種時期 令和5年5月8日開始</p> <p>○接種対象者 2回以上の接種を完了し、以下に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者(65歳以上)及び基礎疾患のある者(接種の努力義務あり) ・医療従事者及び高齢者施設等従事者(接種の努力義務なし) <p>○使用ワクチン 以下のいずれかを1回のみ接種可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オミクロン株対応2価ワクチン(ファイザー社及びモデルナ社) 前回接種から3か月以上経過 ・武田社ワクチン(ノババックス) 前回接種から6か月以上経過
--

変異株に関する項目については、4月3日(月)分から当面の間、2週間ごとに集計しています。
(本日は、6月12日(月)～6月25日(日)分の集計)

8-1 変異株ゲノム解析結果について（政令市除く）

5月下旬～6月上旬に発症した方について、国立遺伝学研究所（三島市）において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。（県所管分）

（結果判明日：6月12日(月)及び6月20日(火)）

<変異株の件数>

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株	0	0	3	0	0	0	6	9
	(内BA.2)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)
	(内BA.5)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)
(内組換え体)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(6)	(7)

8-2 本県の変異株の判明状況（6月25日時点）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	9,876	5,602	2,270	2,004
	(前回からの増加数)	(14)	(12)	(2)	(0)
デルタ株 (R3.5.16~)	判明者数	2,411	1,256	648	507
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
オミクロン株 (R4.1.1~)	判明者数	7,465	4,346	1,622	1,497
	(前回からの増加数)	(14)	(12)	(2)	(0)
※オミクロン株 【内、BA.2】	判明者数	1,420	662	430	328
	(前回からの増加数)	(1)	(1)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、BA.5】	判明者数	3,505	2,391	830	284
	(前回からの増加数)	(4)	(3)	(1)	(0)
※オミクロン株 【内、組換体】	判明者数	66	52	12	2
	(前回からの増加数)	(9)	(8)	(1)	(0)

※県 : 国立遺伝学研究所および国立感染症研究所でゲノム解析を実施

静岡市 : 国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市 : 浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

8-3 本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（6月25日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA.2	内、BA.5	内、組換体	BA.2	BA.5	組換体
3月27日(月)～ 4月2日(日)	21	3	17	1	14.3%	81.0%	4.8%
4月3日(月)～ 4月16日(日)	18	1	10	7	5.6%	55.6%	38.9%
4月17日(月)～ 4月30日(日)	7	0	2	5	0.0%	28.6%	71.4%
5月1日(月)～ 5月14日(日)	7	3	0	4	42.9%	0.0%	57.1%
5月15日(月)～ 5月28日(日)	21	1	4	16	4.8%	19.0%	76.2%
5月29日(月)～ 6月11日(日)	15	0	0	15	0.0%	0.0%	100.0%
6月12日(月)～ 6月25日(日)	14	1	4	9	7.1%	28.6%	64.3%

8-4 ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む）

（6月12日～6月25日判明分）

系統名※	判明数	割合
BA. 2. 75	1	7. 1%
BS. 1	0	0. 0%
BA. 4. 6	0	0. 0%
BQ. 1	1	7. 1%
XBB	9	64. 3%
その他	3	21. 4%
計	14	100. 0%

※国立感染症研究所「感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株について（第22報）」において、「引き続き国内外での動向の注視、知見の収集とともに、国内でのゲノムサーベイランスを継続していく必要がある」とされている系統を掲載しています。